

会長あいさつ

社団法人宮陵会 会長 狩野七郎

異常気象と言われている昨今、桜花爛漫の4月、真冬並の寒気で19年ぶりに都心で雪とともにみぞれが降った。

本年度のわが神奈川大学の卒業式が3月25日、入学式が4月3日に盛大に挙行され、新しい社会人、新しい大学生、大学院生として。それぞれスタートした。若者に幸多かれと祈りたい。

学校法人では教職員の人事異動があり、山火正則学長が6年有余の任期を全うされ3月末日を以ってご退任された。

先生の就任期間は大学の存立基盤に係わる問題が多発した時期と重なり、大変なご苦労をなさった。しかし、教学が取り組むべき課題を明確に提示され、その改革と実績は、神奈川大学の歴史に残る足跡として高く評価されるものである。

4月1日に新しく就任された中島三千男学長は外国語学部の教授であり、副学長、学校法人神奈川大学の理事等を勤められた経験豊かな学長である。先生のご指導を期待するものである。

宮陵会本部役員の任期も本年の総会（5月27日開催予定）までとなっており、役員選考委員会が鋭意検討中である。

さて、社団法人宮陵会は、因より学校法人の理事長をはじめ執行機関、教学、職員等と密に連携し、情報交換等から何が出来、何を為すべきかを明確にして、協力しているところである。

そこで宮陵会の現状の課題を4点ほど報告する。

一 社団法人宮陵会の法人格問題 もともと社団法人宮陵会は、歴史的経緯もあって大変使い勝手が悪い制度に困惑していた。そこで社団法人を解散して、任意団体または中間法人化を模索していたところ、たまたま平成18年5月に公益法人改革関連法案が衆参本会議において可決成立した。その前後して、宮陵会は昨年の通常総会



に定款変更を提案可決成立した。それに基づき文部科学省にその認可方を申請していたところ、12月になって認可された。その結果を踏まえ、今後政省令の公表を待つて、一般社団法人か公益社団法人かの選択を、広く会員意見を集約して決定しなければならない。

二 支部組織とブロック組織の拡充 企画委員会を中心に努力中であるが、その結果、支部については先ずは地元の充実からということで三浦半島支部、横浜北支部、戸塚・栄区支部等が續々設立された。ブロック組織については、中国ブロック、東海ブロック等を含め、既存のブロックについてもブロック組織の充実に啓蒙活動が学友存立の基盤との認識からも重要である。関係各位のご協力をお願いする。

三 本年は社団法人宮陵会設立70周年に当たる節目の年である。因みに母校神奈川大学は来年初創立80周年を迎える。そうしたこともあって宮陵会の記念行事は最小限に止める。

中小企業の景気の低迷、消費の鈍化、団塊世代の定年、天災の頻発等から学生つまり準会員の奨学金の給付及び貸与の需要が高まっている折り、宮陵会の重要事業の一つであるこの事業活動の一層の充実を図らねばならない。

四 財政基盤の確立を図るため、会費改定を本年から実施することとしている。特に維持会費については、会報等の通信費引当になっているので是非ご協力をお願いする。

最後に、地方支部の会員とりわけ、支部役員の方々には日々のご努力に心から感謝申し上げます。特に、若い会員の減少は正に学校、宮陵会存立基盤の危機である。そのような中で孤軍奮闘に敬意を表したい。未組織のブロックについては引き続き企画委員会から協力の折衝があると思うが縷縷申し述べたことをご理解いただきたい。

特集

戦後教育改革と 神奈川大学

特別展 戦後教育改革と神奈川大学



○「校舎の接収・仮校舎・苦しい学生生活」



○「学園再建、早稲新制大学昇格を目指して」

神奈川大学昇格決定す

○「新制神奈川大学誕生」



○「高等教育の機会均等・女子学生の入学」



○「学園の自由・大学の自治」



○「一般教育の重視」

- 会場：神奈川大学図書館1階展示ホール
- 期間：2006年9月12日（火）～11月30日（木）
- 企画・展示：神奈川大学資料編纂室

神奈川大学資料編纂室では、このたび大学図書館展示ホールにて「戦後教育改革と神奈川大学」（二〇〇六年九月一二日～一二月三〇日）と題した特別展を開催いたしました。この展示は、長かった戦争も終わった戦後改革期に焦点を当て、神奈川大学誕生前後の動向を様々な資料から見たものです。戦後改革の要点の一つに「教育」があげられていたことは良く知られているところですが、昨年行なわれました展示の光景（特別展「旧制横浜専門学校―戦時下の学生」）や、軍国主義の惨禍を二度と繰り返さないために教育の民主化は必要でした。なかでも高等教育機関では、「高等教育の機会均等」、「学問の自由・大学の自治」、「一般教育の重視」が求められました。今回の展示はとりわけこのような観点から当時をうかがったものです。

昨年に引き続き特別展の模様を誌上に皆様にご覧いただくことになりました。本記事を通して神奈川大学の出発点を確認していただけたならば幸いです。

（資料編纂室）

セブンスミッツへの挑戦

遥かなる地球の旅路165,000キロ

アコンカグアからチョモランマ、南極へ

2000年に我が神大山岳部は部員ゼロ、休・廃部に追い込まれてしまいました。そんな中で中堅OB達を中心に部復活と大学創立80周年を祝うイベントとして立ち上げたのがセブンスミッツ制覇です。

世界最高峰アジア大陸のエベレスト（チョモランマ）を筆頭に、南米アコンカグア、北米デナリ（マッキンリー）、ヨーロッパのエルブルース、アフリカ大陸キリマンジャロ、南極ビンソン・マシフ、オーストラリアのコジウスコ又は大洋州カルテンツピラミッドを7大陸最高峰と言います。その制覇への遥かなる旅路はおよそ165,000キロ、地球4周分にもなります。

このプロジェクトスタートから早や5年、未来に繋げる部員宮守健太君も育ち、アコンカグアからデナリまで全てに登頂しました。ここで今日まで歩いてきた神大山岳部とそのOB達の足跡を辿ってみましょう。



セブンスミッツ 遠征参加隊員

OB

- 西田 立
- 太田 光成
- 立川 俊彦
- 菊池 稔
- 落合 正治
- 小松 廣美
- 樋詰 順郎
- 小笠原 辰夫
- 田中 康典
- 曾根 祥行
- 宮守 健太
- 西島 亜希子
- 米内山 公太

現役部員

- 渡邊 悟

2 ロシア 5,642m
(ユーラシア大陸最高峰)
エルブルース
2004年8月14日 (全員登頂)



ロシア南東のカスピ海と黒海に挟まれたコーカサス山脈に聳えるヨーロッパ大陸最高峰エルブルース。8月14日未明に出発。5000mを越える頃薄っすらと夜が明け始め、神々しい朝日に影絵となって頂上が映し出されハッと息を飲んだ。

6 8,850m
(アジア大陸最高峰)(世界最高峰)
チョモランマ(エベレスト)
2009年3月~5月挑戦予定

●カトマンズ

5 アラスカ 6,194m (北米大陸最高峰)
マッキンリー (デナリ)
2006年6月18日 (5名登頂)



いよいよ長大なカヒルトナ氷河を持つ本格登山への挑戦。セスナ機でカヒルトナ氷河上LPに降り立ち、19歳から68歳までの隊員8名が3グループにロープを結んで出発。ところがストーブ火災、クレバス墜落、例年にない悪天候という苦難の連続。さらに調理用ストーブ故障により、全員に登頂するだけの水の確保が出来ず、3名は支援、5名の成功に賭けることになった。アタックチャンスは天候に関わり無くわずか2回、日程の余裕はない。タイムリミット目前に最後のアタックを決意し、午後9時過ぎに出発。氷点下30度、白夜のウエストバトレスを頂上へと歩き始め、翌午前6時ようやく登頂した。

3 オーストラリア 2,228m
コジウスコ
2004年11月20日 (全員登頂)



南極からの寒風が2000m級の山々に雪を降らせるオーストラリア唯一のスキー場を擁するスノーウェイ山脈。その最高峰はコジウスコ峰。すっきりと晴れた青空の下リフトに揺られて稜線に出る。ここからは緩やかな登山道を約2時間で頂上到着。復路は大雪渓をグリセードで滑り降りた。

1 アルゼンチン 6,962m
(南米大陸最高峰)
アコンカグア
2003年1月6日 (3人登頂)
8日 (2人登頂)



記念すべき第1峰、ヒマラヤを除けば世界一の高峰に8名全員でアタックをかけ1月6日に3名が、同8日に2名が登頂。当時二十歳の西島亜希子さんは日本人女性最年少登頂の記録を作った。

4 タンザニア 5,895m
(アフリカ大陸最高峰)
キリマンジャロ
2005年5月3日 (全員登頂)



登山口マランゲートから我ら隊員8名を含め総勢30名の大編隊で出発。一日千メートル単位で高度を上げる行程。景色はサバンナ農作地から大樹林帯、草原、岩礫へと登る。初日こそ小雨がけぶったものの登山中はほとんど天候に恵まれた。最後は夜中の出発。空に上るような急登を睡魔、疲労と戦いながら星を掴むように登ること4時間ギルマンズポイント到着。1時間余で薄っすらと雪の被った頂上に到達する。氷河が何とも幻想的だった。

7 南極 4,985m
(南極大陸最高峰)
ビンソン・マシフ
2009年12月挑戦予定

●バトリオットヒルズ

■夢遥か『質実剛健 積極進取』、不撓不屈の敢闘精神で世界最高峰への挑戦に向けて
何はともあれ来る所まで来たというのが実感。次は世界最高峰のチョモランマ峰8,850m(エベレスト・サガルマータ)への挑戦。チョモランマは地球の出臍、天上のデスゾーンにある。今迄の登山とは全く異質、高所順応には世界第6位の高峰チョ・オユーへの試練もあり、その後の南極ビンソン・マシフ峰もそう易々とは登らせてくれないと思う。そしてこの目標達成には数千万円の資金確保、3ヶ月間90日という時間と登攀隊員全員の力量確保という、避けられない大きなハードルが待っている。それは一瞬でも気を抜けば牙を潜めたヒドンクレバスのように一瞬にして夢を奈落の底へ呑み込む大きな障害である。この突破には奢ることなく、臆することなく未だ見ぬ未来に夢膨らませ、校是『質実剛健 積極進取』を肝に命じつつ一歩ずつ夢に向かって進んでいけば必ずや頂上に辿りつくものと考えている次第です。皆々様のさらなる暖かいご支援をお願い致します。寄付金・賛助金を受け付けております。
(郵便振替口座名義：神大山岳部セブンスミッツ計画実行委員会 口座番号：00250-8-67181)

海外支部紹介

米国ロスアンゼルス支部



昨年の大学同窓会対抗ゴルフトーナメント神大チーム



アドベンチャークラブの学生さんたちと



2004年 New Years Party

ここLAでの同窓会は2001年10月に発足し、2003年12月には宮陵会本部から米国ロスアンゼルス支部として承認され今日に至っております。

そのきっかけは、私の友人から現在会長をお願いしている島さんを御紹介頂き、訪ねた事から始まります。

ここLAではゴルフが活発で、毎年5月に大学同窓会対抗ゴルフトーナメントが開催されます。

6年前の2001年、大会幹事校から、LAダウンタウンのゴルフショップ『Golf Exchange』のマネージャーである島さんに大会参加のお誘いがあったもの、神奈川大学は団体戦参加資格の5名に足りず、その年は3名で参加しました。2002年大会団体戦参加の為に卒業生を捜そう、と言う事から日系媒体に広告を出し、その結果今日の32名の同窓会となりました。

2004年の第20回大会では、同窓会対抗ゴルフトーナメントにおきましては大会開催幹事を仰せ付け、Oak Quarry Golf Clubにおいて、21校、152名の御参加を頂き、無事大役を勤めました。私どもの活動もゴルフが中心と言わざるを得ません。

こちらにいらつしやる卒業生全員が参加される訳では無いので集まる方が決まってきた点、ま

た、お仕事の関係で日本へ帰る方がいらつしやる点が運営上の悩みです。

宮陵会本部から送られてくる神大の刊行誌等をご送付するなどして同窓会の存在をアピールしております。

2004年、かねてからの夢だった自転車でのアメリカ横断を還暦過ぎに実現させた、岩間先輩を、LA在住の学生時代一緒であった吹奏楽部の方々から紹介され応援した事、また、昨年夏には、アドベンチャークラブの学生さんが、LAに同窓会があると聞いて来ましたが、と訪ねて来て下さいました。なんと彼らもモニュメント・バレーまで自作の幌馬車を押して歩いて行って来たとの事。

同窓会をしていて嬉しく感じるのは、年齢を問わず、同じ大学を卒業したと言う不思議な絆、親しみ、そしてゴルフをし、その後食事会で楽しく話が出る機会を作れると言う事、そこで何十年も前の事をついさつき起きた事のように楽しく話せる、これだと思えます。

今後もLA同窓会を盛り上げて行きたいと思えます。御指導、宜しくお願い申し上げます。

幹事 津田 英樹

(1983年 経済学科卒業)

卒業生 頑張ってます。

佐藤雄平さん

昭和45年
経済学部経済学科卒

Yuhei
Sato

ふるさと福島から

神奈川大学卒業生の皆さんこんにちは、福島県知事の佐藤雄平です。

私が六角橋のキャンパスに通信したのは昭和41年、高度経済成長期のまっただ中でした。ビートルズの来日やマイク真木の「バラが咲いた」のヒットなど、華やいだ雰囲気に含まれていたと記憶しています。家族と過ごした会津から一人ぼっちでやってきた私でしたが、入学と同時に男性合唱団フロイデコールからお誘いを受け、子供の頃から大好きだった合唱に4年間打ち込み、多くの知己も得ることができました。

その後、2期8年余の参議院議員時代には、情操教育の大切さを訴えるため、



委員会質疑で唱歌を歌ったこともあり。それほど私にとって合唱・歌は大きな存在となっています。私を教え育てていただいた神大の4年間には大変感謝しています。

昨年11月私はふるさと福島島の知事となりました。議員としての任期を半ば残していたこともあり出馬に当たっては悩みに悩みました。

「福島を何とかしなくてはならない」、私に決断させたのは、ふるさとに対する強い思いでした。

ふるさと福島は、太平洋に面した浜通り、新幹線が南北に走る中通り、歴史に

彩られた会津地方。3県分にも匹敵する多様な県土を持つています。「夏が来れば思い出す」で有名な尾瀬や水質日本一の猪苗代湖など豊かで美しい自然。歴史や風土に培われた今に息づく伝統と文化。139カ所もある温泉や桃、梨、リンゴ、ブドウなどの果物。そして人情味あふれる県民。魅力がいっぱいで、この稿では語り尽くせません。

今福島県では、「ちよっと住む。ときどき住む。ずっと住む。みんないいかも福島県。」をキャッチフレーズに、定住・二地域居住のお手伝いをしています。横浜キャンパスから福島県境まで直線で190km足らず（浜名湖より近い）。

是非、一度福島に来てみてください。きっと皆さんを満足させる魅力に出会えることと思います。あたらしき 歴史の朝よ 世界は呼ぶ 世界は呼ぶ ひかりはここに

尾崎圭司さん

平成15年
経営学部国際経営学科卒

Keiji
Ozaki

卒業生初！ K-1 World Max 出場！

合唱団で何度も歌った校歌を心の中で口ずさみながら県民の幸せを追い求める毎日です。

2007年2月5日に神奈川大学初のK-1選手が誕生した。その日行われた「K-1 World Max 2007 日本代表決定トーナメント」に出場したのは、経営学部卒業、体育会テコンドー部出身の尾崎圭司さん。尾崎さんは大学に入学後、テコンドーの足技の華麗さに魅了され入部、学生時代には2000年第12回全日本大学テコンドー選手権大会優勝を皮切りに13回、14回にも優勝を果たし3連覇を達成した。大学を卒業する頃に

はすでにK-1出場を目標にするようになり、卒業する直前からは前田憲作氏率いるチームドラゴンで練習を開始。2003年9月28日に格闘技団体RISEの主催する「RISE Fourth」でプロデビューを果たし、デビュー戦を判定3-0の白星で飾った。昨年12月には東京・ディファ有明で行われた「3A LIFE & FULLCAST PRESENTS RISE DEAD OR ALIVE TOURNAMENT'06」で優勝、これによりK-1参戦を決定的なものにした。



夢が叶って出場した「K-1 World Max 2007 日本代表決定トーナメント」ではリラックスもしていたがやはり緊張したという1回戦でシュートボクシングの穴戸大樹選手と対戦し3R 3-0で勝利、準決勝では

佐藤嘉洋選手と対戦し、前に出る姿勢で観客も味方に付け善戦したが、3R判定3-0で破れ3位となった。そして4月4日には2回目となる「K-1 World Max 2007 世界最終選抜」に出場。世界大会へ向けてオーストラリアのイアン・シヤファードと対戦し、シヤファードの猛烈なパンチを受けながらも諦めない精神力の強さを見せたが、判定3-0で惜しくも敗れた。

尾崎さんが「」参戦を目指したのは、技の華麗さが注目されるテコンドーの本来の強さを証明したかったから。初参戦は3位、世界を相手にした戦いではまだ勝者の称号は得ていないが、回し蹴りなどの大技も披露し、今後の活躍が期待できる試合となった。

そんな尾崎さんから卒業生の皆さんにメッセージをいただいた。「今後も」で闘っていくので応援をよろしくお願いします。神奈川大学の卒業生はすごいということをアピールして、同じ神大OB・OGとして神奈川大学を盛り上げていきましょう！」

尾崎さんは「」選手となった今でも選手として試合に参加する傍ら、神奈川大学テコンドー部の後輩指導にあたっている。また平塚・横浜で自ら主宰する「尾崎道場」でも選手の育成に励んでいる。その理由は「人に教えるのが好きだから」。テコンドーのように、しなやかさと強さを合わせ持った尾崎さんの今後の活躍に期待したい。

石神直哉さん

平成19年
経済学部経済学科卒

Naoya
Ishigami

鹿島アントラーズ へ入団！

2007年1月12日、神奈川大学にて経済学部4年体育会サッカー部所属・石神直哉選手のJリーグ鹿島アントラーズへの入団記者発表が行われた。本学から現役選手がプロ入りするのは初めてのこととなる。

石神さんは中学・高校とサッカーを続け、茨城県立鹿島高校時代は全国大会に出場した経験を持つ。「大学生らしい生活をしたかったから」と寮生活のない神奈



川大学サッカー部を選び、その言葉どおり、大学時代は将来の選択肢を広げるために教職課程を履修するなど勉強にも励む傍ら、アルバイトなども経験した。

もともと高校時代は攻撃的な選手だったが、大学入学後にディフェンダーに転向。ポジションは左サイドバックで、何度もオーバーラップする持久力と相手の強い当たりにも耐える身体能力の高さ、左足の正確なキックを武器に、県1部から関東2部へのリーグ昇格などチームの躍進に貢献した。

石神さんの存在が注目されるようになったのは3年生の春のリーグ戦。その活躍がスカウトの目に留まり昨年夏には鹿島のキャンプに参加、今回の入団の切符

をつかんだ。石神さんにとって鹿島アントラーズは、小さい頃から応援してきた地元茨城のチーム。中学に上がるときにはアントラーズのジュニアユースのセレクションを受けたこともある。そのときは叶わなかった夢が、長い時を経て、今叶う。

石神さんはこの春大学を卒業。これからは憧れだった舞台で、その勇姿を見せてくれるだろう。今からその活躍を見られる日が楽しみだ。

山本一典さん

昭和57年
外国語学部
英語英文学科卒
田舎暮らしライター

Kazunori
Yamamoto

アメリカ 黒人文化論から

田舎暮らしへ

今年から団塊の世代が定年を迎えるというところで、セカンドライフのあり方が盛んに議論されています。二十二年前から田舎暮らしを取材し、自ら田舎に移り住んだ私の身辺も慌ただしくなってきました。また、



昨年から地方自治体による団塊争奪戦が激化。私の住む福島県も熱心な自治体の一つで、神奈川大学OBの佐藤藤平新知事が定住促進と二地域居住を政策の柱に挙げているほどです。もともと、自然や癒しを求める都会人と過疎化・高齢化に苦しむ地域社会との交流が、必ずしも上手くいくわけではありません。田舎暮らしは「夫は夢中・妻が無関心」という傾向もあります。

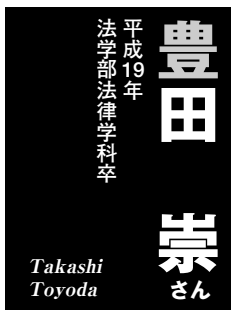
そういう都会人の悩みに向き合うべく、昨年『失敗しない田舎暮らし入門』という文庫、『夫婦いっしょに田舎暮らしを実現する本』という単行本（いずれも洋泉社）の二冊を上梓しました。都会人だけでなく、受け入れ側の自治体関係者か

らも反応が増えました。私は四十七歳なので、神大を卒業して四分の一世紀が過ぎたことになりました。大学時代はアメリカ黒人文化論を研究するゼミで、友人たちと青臭い論議を繰り返していました。黒人文化論と田舎暮らし、まったく正反対のテーマと思われそうですが、私の中ではどこかでつながっています。ご存じの通り、アメリカ黒人は奴隷として強制移動され、長年に渡って人種差別を受けた歴史があり、その苦しみの中からブルースやジャズなど独自の文化を誕生させました。ここでいう文化とは、単に芸術とか文化包丁の類ではなく、人間が集団で生きていくために身につけた生活様式のことです。学生時代に文化や差別について論議してきた私は、文化や歴史を大事にしない人間が何をやるか、現代社会はどういう犠牲のうえに成り立ってきたか、という問題意識がいささか残っていました。

田舎暮らしは都会人の新しいライフスタイルとしての側面ばかりが強調されが

卒業生頑張ってます。

ちですが、実は一九七〇年代に日本の農村が生産過剰に陥り、過疎化と後継者不足が著しく進んだことが背景にあります。それ以前の農村に、見ず知らずの都会人を受け入れる発想はほとんどなかったのです。時代は変わりました。それでも田舎をめざす都会人には、農村が育んできた文化に敬意や思いやりの心を持ってもらいたいです。振り返れば、私が文化の根元を見る目を養えたのも、六角橋での青臭い論議があったからなのです。



平成19年
法学部法律学科卒
豊田 崇さん
Takashi Toyoda

ユニバーシアード 競技大会へ 出場内定!

2007年3月11日(日)
に行われた第10回日本学生

ハーフマラソン選手権大会に本学陸上競技部の選手達が出場し、豊田崇選手が1時間3分50秒という記録で初優勝した。今大会は今年8月にタイのバンコクで開催される第24回ユニバーシアード競技大会の日本代表選考会も兼ねており、豊田選手の出場が内定した。ユニバーシアード(UNIVERSITY-AD)競技大会とは、国際大学スポーツ連盟(International University Federation)が主催する全世界の学生の総合競技大会のこと。2年ごとに開催されており、別名「学生のオリンピック」とも言われている。本学陸上競技部の選手が、ユニバーシアードに出場するのは初めてのことで期待が寄せられている。

今年3月で陸上競技部長を退職された植田前部長は、豊田選手について「高校生のときは特に目立つ存在ではなかったが、この4年間

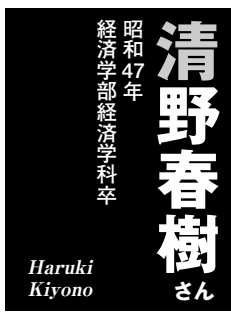
で自分自身を高め成長をしてきた選手。4年生のときはキャプテンとしてチームを引っ張り、本当に努力をしてきた。このような選手が、ユニバーシアード出場の内定を頂くことができ、大変嬉しく思う。陸上競技部としても誇りに思っている」と評価する。

豊田選手は「自分自身、学生最後のレースだったので天気が悪くないコンディションとは言えなかったのですが、自分として納得のいく走りをしたと思っています。結果としてユニ



バーシアードの内定も決まりとても嬉しいです。ただ、まさか優勝できるとは思っていなかったの自分自身でも驚いています。ずっと世界に挑戦してみたかったので、しっかりと練習を積んで挑戦したいです」と意気込みを語ってくれた。

豊田選手は今年3月に本学を卒業し、4月からは山陽特殊製鋼に進み実業団として走り続ける。今後の活躍に期待したい。



昭和47年
経済学部経済学科卒
清野春樹さん
Haruki Kiyono

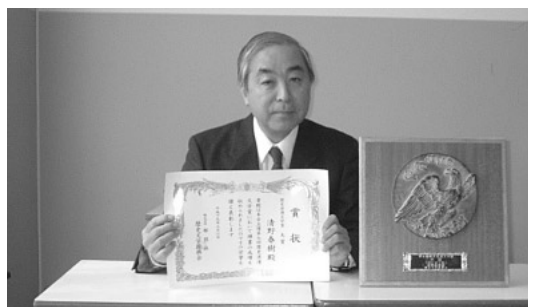
第七回 「歴史浪漫文学賞」 大賞を受賞!

「歴史浪漫文学賞」は東京の出版社「郁朋社」が優れた歴史小説や評論に送る賞で、応募総数208作品の

中から清野さんの作品が選ばれました。

山形新聞(3/10朝刊)によると東海大山形高校教諭の清野春樹さん(57)が今回初めて執筆した歴史小説「河に沿う邑(むら)」が郁朋社(東京都)が実施した「歴史浪漫文学賞」のコンテストで最高賞の大賞に輝いたとのこと。受賞した作品の内容は古墳時代の置賜地方を舞台に、勢力争いに巻き込まれた若い男女の葛藤を描いた恋愛物語。主人公の少女が山菜取りやクマ狩りなどを繰り返す場面が随所に登場。自然に深く根差した当時の営みを描いている。「古代の人も、現代人と同じように喜び、悲しみ、恋愛に悩んだはず。その等身大の姿を美しい自然とともに描きたかった」と清野さん。本作品は今年8月末までに出版される予定。

また、清野さんから本学に次のような手紙が届いております。



「当時はゼミの選択は学部学科の枠にとられず自由な選択が許されておりました。そこで私は平田満男ゼミで「日本文学」を受講いたしました。卒業後地元に戻り、私立高校の教師をしながら小説にも親しんでいましたが、今回はからずも歴史浪漫文学賞・大賞を受賞しました。これも当時の大学の自由で活発な雰囲気のおかげだと思っております。」

きっせいき
吉盛忌

平成19年5月17日(木)
午前10時～午前11時

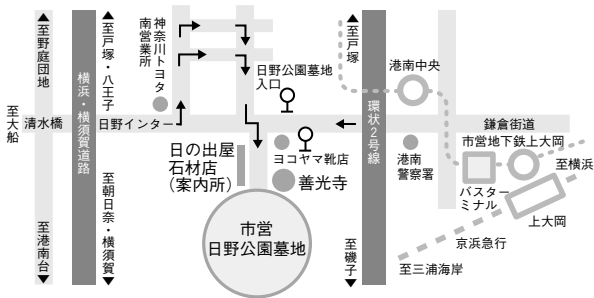
横浜市日野公園墓地米田吉盛先生墓前にて

神奈川大学は、創立者の遺徳を偲び、建学の礎を永続的に見続けるため上記のとおり墓参を行いますのでお知らせいたします。

- 上大岡駅よりバスで日野公園墓地入口まで10分です
- 大船行・鎌倉行（4系統）、野庭団地行（51・52系統）をご利用ください。
- 横浜・横須賀道路日野インターから自動車でご来られる場合、ヨコヤマ商店前の信号は右折禁止となっています。矢印にそっておこしてください。
- 駐車場は市営日野公園墓地内をご利用ください。
- 墓前のご案内は日の出屋石材店でっております。

お問い合わせ

神奈川大学総務部総務課 TEL045-481-5661
平服にてお越しください



おかえりなさい

**第13回神奈川大学ホームカミングデー
平成19年10月21日(日)・横浜キャンパス・参加費無料**

ホームカミングデーは卒業生を大学にお迎えし旧友や旧師との交流を深め、そして神奈川大学との絆を深めていただくことを目的として毎年開催しているイベントです。

新しいキャンパスで懐かしい校友に会いに行きましょう。

招待者：昭和32年以前の卒業生

昭和47年の卒業生・昭和62年の卒業生

平成9年の卒業生・平成19年の卒業生

上記以外の卒業生もご参加いただけます。

第12回ホームカミングデーでは多数の卒業生より賞品のご提供をいただき、抽選会を開きました。ご協力ありがとうございました。

旅

同窓会や
家族旅行に
お気軽に
ご利用ください。



■ **神奈川大学箱根保養所**

箱根金時山のふもと、仙石原高原にあります。金時山登山、ハイキング等箱根観光の起点としてご利用ください。

・ 利用料金（1泊2日2食付） 6,090円（税込み）
〒250-0631 足柄下郡箱根町大字仙石原1104-1

■ **神奈川大学富士見高原研修所**

信州・ハケ岳山麓に広がる標高1300mの富士見高原に位置します。さわやかな高原の空気と森林浴をお楽しみください。

夏場はハイキング、冬場は近くのスキー場で楽しむことができます。

・ 利用料金（1泊2日2食付）2,730円（税込み 夏料金）

**神奈川大学オリジナル
JINくん & KANAちゃん マスコット人形販売中**

神奈川大学創立70周年を記念して誕生したマスコットです。
キャラクターは公募により生まれました。



JINくん&KANAちゃん
(10cmペアセット) 900円



KANAちゃん
(女の子10cm) 500円



JINくん
(男の子10cm) 500円



KANAちゃん
(女の子20cm) 800円



JINくん
(男の子20cm) 800円



JINくん&KANAちゃん
(20cmペアセット) 1,500円

お問い合わせは 神奈川大学総務課
電話045-481-5661 FAX045-491-7915 メール jinkana-somu@kanagawa-u.ac.jp

ONLY YESTERDAY

オンリー・イエスタデイ



怒涛の人生

ユネスコカブール事務所
文化事業企画専門官
平成3年外国語学部英語英文学科卒

長岡 正哲

2004年4月からユネスコ(国連教育科学文化機関)のカブール事務所に勤務し、文化事業企画専門官として、アフガニスタンの文化遺産復興の支援を行っています。

1991年英語英文学科を卒業後、一番興味があったマスメディア論やマスコミについて何か経験したほうがいいと思い広告代理店に就職したのですが、3年ほど経った頃、大学院で何か普遍的な事柄を追求したいと考えようになりました。変わらぬ真理とは何か。その時の興味としては、チベット密教とエジプトの考古学があり、エジプト学の方であれば、一生追い求めてもよいかな、と思えるようになりました。その後、米国コロンビア大学大学院美術史考古学に入学することができましたが、当時の私の能力では(実は今もそうですが)英語で勉強することが大変難しく、24時間空いている大学の図書館で夜中まで勉強していたのを思い出します。ニューヨークの冬は零下20度にもなることがあり、夜中に図書館から出たとたん「なんで俺はこんなことをやっているんだろう」と寒さの中心で涙ぐんだこともありました。2年間の苦行とも呼べる大学院生活を終えようとしたときに、今後どんなことをして生計を立てていくかと考えました。当時は、ミュージアムの博物館員、大学の先生ぐらいしか思いつきませんでした。但し、この時点で勉強することの大変さを痛感していたので、博士課程に進

むことは考えられませんでした。そこで、大学院の実習で毎週のように通っていたメトロポリタン博物館での就職を目指すこととし、インターンやボランティアなどあらゆる道を探って押しかけたのです。その頃は、ニューヨーク暮らしもある程度慣れ、何事もやる気次第で必ず道は開けるという妙な信念が芽生えていましたが、なんと浅はかな考えだったのでしょうか。そこは、もともと狭き門。専門の博士課程を終えていないとスタートラインにも就けないと門前払いでした。他にもニューヨークには美術館、博物館の類が数多くありましたので、熱意を込めた手紙を片端から送りました。結果はどれもダメで、困り果てました。既に28歳でした。

ニューヨークというのは本当にチャンスが転がっている町です。ユネスコという国連専門機関が「世界遺産」というプロジェクトを行っていることを知り、ユネスコのニューヨーク事務所に、面接の約束を取り付けました。そこも大学院の博士課程レベルでないと、インターンとしても取らないことを告げられましたが、大学院で学んだことを面白おかしく話しをするうちに、その所長に気に入られ(恐らくですが)、大学院修了あと少しというところでインターンをするようになったのです。

これを契機にその後、東京の(社)日本ユネスコ協会連盟に職員として採用されることとなりましたが、そこでは、世界遺産活動を担当し、世界遺産条約の啓発やアジアを中心とした文化財保護のプロジェクトに従事し、世界遺産登録地での修復事業協力(ペトナムの古都ホイアン、ネパールのカトマンズの谷、アフガニスタンのバミヤ

ン渓谷)、朝鮮民主主義人民共和国国内高句麗古墳壁画保護事業、日本国内での世界遺産登録地での保護・保全活動事業、世界遺産シンポジウムの企画・運営、世界遺産年報の発行事業などを行い、国連のユネスコとも共同で事業を行いました。

その間、アフガニスタンでのバミヤンでの事業をしているときに、ユネスコカブール事務所長からお誘いを受け、現在に至ったわけです。

教育や文化などの復興において、色々な国から人的・金銭的な援助がアフガニスタンに入ってきてますが、私たちが忘れてならないのは、この国の人々が主役であるということ。他国から来ている私たちにできるお手伝いとは何かを考えながら、今日もアフガン人と仕事をしています。



19の夏休み、アストン大学での経験が出発点だった

昭和62年法学部法律学科卒

梅本 真司

私は、現在、独立行政法人国際協力機構（JICA）に勤めているが、周りを見渡すと実に多様な人材が集まっていることに気づく。中途採用組も相当数を占め、また新入職員も3割以上を大学院卒が占めているせいか、同期といえども年齢も様々。また多くは海外での留学／遊学や青年海外協力隊やNGOでの経験を持っており、普通に大学を卒業して入ってくる方がむしろ珍しい？とも思えるくらいである。開発途上国に対する援助（JICAはODAの中でも特に技術協力を担う実施機関である）に何かを賭けてみようとする者の集まりであるが、それまでの経験から何らかの形で途上国との接点がある場合が多く、自分にできる何か？を求めて入ってくる。それぞれに共通するのは「人が好き」だということ。

相手国の状況は実に様々であり、一筋縄ではないことが多い。それに昨今は治安情勢が急激に悪化する事も多く、突然その国から脱出しなければならぬこともある。それでも、ひとたび現地へ赴き、支援を必要としている人々に会い、なにかしらの可能性を見いだす時、希望と情熱がこみ上げてくる。また支援が成功し、現地の人々に喜ばれていると実感する時、改めて「この道に進んで良かった」と思い直すのである。

今の仕事に至るまでいろいろと寄り道して来たわけだが、改めて原点を振り返るとそこ

には大学2年の夏休み（1984年）に、短期留学した英国、アストン大学がある。あの時味わった様々なショックはいまでも昨日の事のように思い出す。そしてもっと世界を見てみたくなり、1年休学してオーストラリアへ、卒業後はフィリピンで2年間を過ごし、異なる人種や民族が共に暮らすのがごく当たり前である世界を鏡にしながら、日本の置かれている状況やそのユニークさについて、自分なりに考える術を持つことができたのである。そしてビジネスとは異なる世界で、日本がこの世界で果たせる役割がなにかあるはずと思い、開発援助の世界へとつながっていったのだと思う。

JICAに入ってから、これまで西アフリカのセネガルで2年、フランスで約3年の在外勤務の機会に恵まれた。「アフリカの水を飲んだ者は必ずアフリカの地に戻る」との言い習わしがあるが、まさにその通り。その後も縁があつて今ですっかり仏語圏のアフリカ要員？という色がついているらしい。現在は総務部に所属し、現場から離れてはいるが、より質の高い、ニーズに素早く応えるべく組織基盤を強化するためのお手伝いをしていくと自負しながらも、一刻も早くアフリカへ戻りたい！と思う毎日である。



本質を求めて 原点の神奈川大学

昭和56年法学部法律学科卒

石原 洋

私の神奈川大学での4年間を振り返るとひとりの付き合い方を学んだ4年間であるといえます。京都から一人横浜に出てきて、右も左もわからない中、沢山の人々と出会い、愉快な仲間たちとMMT (Magical Mystery Town) という旅系のサークルを作り、MMT中心で授業は二の次の大学生活を送っておりました。このサークルには色々な学部から集っており、個性豊かな人々と構成されていて、これらの人達との付き合いの中で神奈川大学が持つ自由闊達な精神と責任の重さなど多くのことを学んだと確信しています。卒業後、入社した会社はコンピュータサービス株式会社（現CSKホールディングス。以下CSK）に入社しました。私の専攻が法学部法律学科であり、大学時代にコンピュータに触れることも一切なく（あまり法律の勉強もしませんでした）が、ゼロからの出発でした。

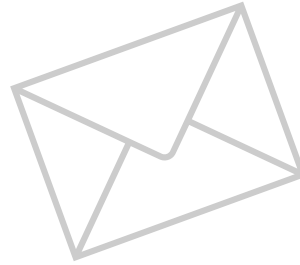
当時CSKはコンピュータの運用保守業務が花形でしたが、私の配属はシステム開発業務であり、お荷物視されていました。今、考えると、この時の配属のおかげで技術職としての私があるといえます。最初からシステムを設計する事に配属されましたが、お客様が何を言っているのか全くわからなかったことを思い出します。OJTを担当して下さった先輩の厳しいトレーニングのおかげでデータベースの専門家としての道を歩みだしました。その先輩を追って、現在の会社（株式会社

社アシスト）に転職しデータベースの専門家としての業務からビジネスを可視化するためのメソッドとしてビジネスモデリングやデータモデリングなどのモデリングメソッドの開発を担当し、多くの企業において、このメソッドを活用したコンサルテーションを実施しています。コンサルティングのポイントは「技術」ではなく「人」であり、人に必要とされるものを提供することが最も重要なことなのです。この人に対する感性は神奈川大学時代に育んだものであるといっても過言ではありません。神奈川大学で学んだ自由闊達な精神で何事もチャレンジすることを恐れずにやってきました。この度、「できるリーダー養成講座」という本を執筆する機会に恵まれました。この本の中で若いリーダーさん達に発したメッセージは「何も恐れることは無い誰でも最初は素人であり、自由闊達な発想で行動することで道が開かれるものである」ことを中心に「人」を見る人間力をつけて欲しいと思つたからに他なりません。この寄稿に関しても同様の気持ちです。今年単立つ後輩諸君や各企業で活躍する後輩諸君の励ましになれば幸いです。



本部だより

通常総会の議案
 会費の改定について
 宮陵会理事会開催状況
 宮陵会代議員会
 宮陵会通常総会
 宮陵会監査
 各種委員会開催状況
 支部総会関係開催状況
 同期同好開催状況
 宮陵会表彰者
 新支部紹介
 新支部長紹介
 計報



通常総会の議案

平成19年度通常総会における第2号議案の平成19年度補正予算案については、下記のとおり平成18年度通常総会で承認された予算案を一部修正し補正案を審議いただきます。

公益法人会計基準の改正に伴い、これまでの財務諸表のうち19年度収支予算書の項目立てから変更いたします。新会計基準では、事業活動収支、投資活動収支、財務活動収支に区分されます。したがって下記のとおり組替えました。次に、補正する概要ですが、事業活動収入の部では会費収入の670万円の増額です。これは、新会費制度の維持会費適用が19年度から開始されることによりです。終身会費納入者約1万5千人が対象となりますが、これまでの会費納入率などから試算した最小の見込み額を計上いたしました。つぎに事業活動支出の部では、前年度に引き続き会員への広報活動の強化のため、全会員を対象に広報誌を送付することとし約960万円を増額補正します。管理費支出では、事務職員の退職に伴う引継ぎ業務など人件費約130万円の増額と、新会計基準への移行に伴う費目替えとなります。

なお、本会の定款変更が12月22日付で文部科学省から認可されましたので、従来2年分の予算案を通常総会にて審議してききましたが、19年度補正予算のみを審議していただくこととなります。

平成19年度収支予算書（新旧会計基準対比表）

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

(一般会計) (旧会計基準) (単位: 円)

| 科目 | 予算額 |
|----------------------|--------------------|
| I 収入の部 | |
| 1 財産運用収入 | 1,000,000 |
| 受取利息 | 1,000,000 |
| 2 会費収入 | 102,500,000 |
| 正会員会費収入 | 6,000,000 |
| 準会員会費収入 | 96,500,000 |
| 3 雑収入 | 1,000,000 |
| 会誌広告料 | 500,000 |
| その他収入 | 500,000 |
| 4 積立金取崩収入 | 8,000,000 |
| 設立70周年記念事業積立金取崩収入 | 8,000,000 |
| 当期収入合計 | 112,500,000 |
| 前期繰越収支差額 | 30,000,000 |
| 収入合計 | 142,500,000 |
| II 支出の部 | |
| 1 事業費 | 100,393,000 |
| 大学主催事業協賛費 | 5,900,000 |
| 給付奨学金 | 8,000,000 |
| 特別給付奨学金 | 31,000,000 |
| 学生課外活動援助等事業費 | 18,764,000 |
| (クラブ活動等助成費) | (6,000,000) |
| (特別事業費) | (3,055,000) |
| (体育振興費) | (2,399,000) |
| (入学卒業関係費) | (7,310,000) |
| 組織費 | 10,778,000 |
| 婦人会員特別事業費 | 619,000 |
| 広報費 | 23,832,000 |
| 事業諸費 | 1,500,000 |
| 2 管理費 | 22,360,000 |
| 人件費 | 13,350,000 |
| 慶弔費 | 900,000 |
| 会議費 | 1,510,000 |
| 通信搬送費 | 1,090,000 |
| 消耗什器備品費 | 200,000 |
| 印刷・消耗品費 | 4,810,000 |
| 委託費 | 300,000 |
| 雑費 | 200,000 |
| 3 設立70周年記念事業費 | 8,000,000 |
| 設立70周年記念事業費 | 8,000,000 |
| 4 積立金支出 | 4,400,000 |
| 奨学金積立金支出 | 400,000 |
| 設立70周年記念事業積立金支出 | 4,000,000 |
| 5 予備費 | 7,347,000 |
| 予備費 | 7,347,000 |
| 当期支出合計 | 142,500,000 |
| 当期収支差額 | △30,000,000 |
| 次期繰越収支差額 | 0 |

平成19年度収支補正予算書(案)

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

(一般会計) (新会計基準) (単位: 円)

| 科目 | 予算額 | 補正額 | 補正予算額 | 備考 |
|--------------------|--------------------|-------------------|--------------------|---|
| I 事業活動収支の部 | | | | |
| 1. 事業活動収入 | | | | |
| ①基本財産運用収入 | | | | |
| 基本財産利息収入 | 1,000,000 | 200,000 | 1,200,000 | |
| ②会費収入 | | | | |
| 正会員会費収入 | 6,000,000 | 6,700,000 | 12,700,000 | 年会費 2,700,000 基本会費 3,000,000 維持会費 7,000,000 |
| 準会員会費収入 | 96,500,000 | | 96,500,000 | |
| ③雑収入 | | | | |
| 受取利息収入 | 400,000 | | 400,000 | |
| 雑収入 | 600,000 | | 600,000 | |
| 事業活動収入計 | 104,500,000 | 6,900,000 | 111,400,000 | |
| 1. 事業活動支出 | | | | |
| ①事業費支出 | | | | |
| 大学主催事業協賛費 | 5,900,000 | | 5,900,000 | |
| 給付奨学金 | 8,000,000 | | 8,000,000 | |
| 特別給付奨学金 | 31,000,000 | | 31,000,000 | |
| 学生課外活動援助等事業費 | 18,764,000 | | 18,764,000 | |
| (クラブ活動等助成費) | (6,000,000) | | (6,000,000) | |
| (特別事業費) | (3,055,000) | | (3,055,000) | |
| (体育振興費) | (2,399,000) | | (2,399,000) | |
| (入学卒業関係費) | (7,310,000) | | (7,310,000) | |
| 組織費 | 10,778,000 | | 10,778,000 | |
| 婦人会員特別事業費 | 619,000 | | 619,000 | |
| 広報費 | 23,832,000 | 9,578,000 | 33,410,000 | |
| 事業諸費 | 1,500,000 | | 1,500,000 | |
| 設立70周年記念事業費 | 8,000,000 | | 8,000,000 | |
| ②管理費支出 | | | | |
| 給料手当 | 10,260,000 | 1,318,000 | 11,578,000 | |
| 臨時雇賃金 | 1,450,000 | | 1,450,000 | |
| 福利厚生費 | 2,540,000 | | 2,540,000 | |
| 会議費 | 1,510,000 | | 1,510,000 | |
| 旅費交通費 | 30,000 | | 30,000 | |
| 通信運搬費 | 1,090,000 | | 1,090,000 | |
| 消耗什器備品費 | 200,000 | | 200,000 | |
| 消耗品費 | 200,000 | 1,000,000 | 1,200,000 | |
| 印刷製本費 | 3,910,000 | △1,485,000 | 2,425,000 | |
| 賃借料 | 500,000 | | 500,000 | |
| 委託費 | 300,000 | | 300,000 | |
| 雑費 | 370,000 | | 370,000 | |
| 事業活動支出計 | 130,753,000 | 10,411,000 | 141,164,000 | |
| 事業活動収支差額 | △26,253,000 | △3,511,000 | △29,764,000 | |
| II 投資活動収支の部 | | | | |
| 1. 投資活動収入 | | | | |
| ①特定資産取崩収入 | | | | |
| 設立70周年記念事業積立金取崩収入 | 8,000,000 | | 8,000,000 | |
| 投資活動収入計 | 8,000,000 | | 8,000,000 | |
| 2. 投資活動支出 | | | | |
| ①特定資産取得支出 | | | | |
| 投資活動支出計 | 4,400,000 | | 4,400,000 | |
| 投資活動収支差額 | 3,600,000 | | 3,600,000 | |
| III 予備費支出 | 7,347,000 | 3,946,000 | 11,293,000 | |
| 当期収支差額 | △30,000,000 | △7,457,000 | △37,457,000 | |
| 前期繰越収支差額 | 30,000,000 | 7,457,000 | 37,457,000 | |
| 次期繰越収支差額 | 0 | 0 | 0 | |

会費の改定について
(七月の維持会費の
納入ご案内)

18年度通常総会において承認されました、会費改定の維持会費の納入につきましては、19年度4月1日から適用いたします。この維持会費の納入に関する取り扱いは、7月末に発刊いたします会報に同封してご案内します。19年度にご案内させていただきます対象となりますが会員は、これまでに終身会費を納入済みの正会員のうち、納入後21年以上を経過している正会員にそれぞれ旧終身会費と納入年月などの納入状況をお知らせします。維持会費の納入額を1万円、2万円、3万円から選択していただき、ご案内の納入票を用いて納入をお願いする予定です。

また、これまでに会費が未納の会員には、年会費(年額3千円)、もしくは新終身会費の(9万円)の納入について選択していただくようご案内いたします。

毎年の年会費をご納入いただいている正会員の皆様には、19年度中の経過特例として、これまでの年会費納入期間が20年以上であれば、基本会費(旧終身会費3万円相当)の納入完了と見なし、19年度から維持会費を選択することが出来ます。最終納入年月等を記載してご案内いたします。20年に満たない年数を納入されて基本会費の納入完了と見なす特例措置につきましてお知らせいたします。

正会員からの会費の納入は、本会の財政基盤をより強くしていくため、準会員(学生会員)からの前納会費に依存している財政を改善していくことにあります。運営につきましては、これからの管理経費をはじめ経費の削減に努めてまいります。なにとぞ会員の皆様のご理解とご協力をお願いする次第です。

宮陵会理事会開催状況

●平成18年4月21日(金) 議案
一、平成17年度収支決算報告に関する件
二、平成18年度補正予算に関する件
三、表彰規程にもとづく被表彰者の決定に関する件
四、社団法人宮陵会定款の変更についての一部修正に関する件
●平成18年7月21日(金) 議案
一、支部設置承認に関する件
二、正会員の承認に関する件
●平成18年9月29日(金) 報告事項
一、社団法人宮陵会定款の変更について
二、第12回神奈川大学ホームカミングデーの開催について
●平成18年12月1日(金) 議案
一、平成18年度第2回代議員会の招集に関する件
二、支部設置承認に関する件
●平成19年1月27日(土) 議案

宮陵会代議員会

●平成18年5月28日(日) 議案
一、平成17年度収支決算報告に関する件
二、平成18年度補正予算に関する件
●平成19年2月25日(日) 議案
一、平成19年度補正予算に関する件
二、役員選考委員会委員の選出に関する件

宮陵会通常総会

●平成18年5月28日(日) 議案
一、平成17年度収支決算報告に関する件
二、平成18年度事業計画の変更及び補正予算に関する件
三、平成19年度事業計画及び収支予算に関する件
四、社団法人宮陵会定款の変更に関する件
五、社団法人宮陵会定款施行規則の改正に関する件

宮陵会監査

●平成18年5月11日(木) 平成17年度監査

各種委員会開催状況

●平成18年
4月7日 表彰委員会
15日 準会員委員会
17日 財政委員会
6月1日 広報委員会
14日 婦人部委員会
16日 広報委員会
23日 広報委員会
7月11日 企画委員会・横浜市内区支部設立準備委員会
31日 体育振興委員会(体育会本部との打合せ)
9月15日 婦人部委員会
22日 財政委員会正副委員長と専務理事打合せ
10月16日 広報委員会
19日 企画委員会・横浜市内区支部設立準備委員会
29日 婦人部委員会(女性会員のつどい)
11月7日 緑・青葉・都筑区(横浜北)支部設立準備委員会
8日 戸塚・栄区支部設立準備委員会
22日 広報委員会
29日 財政委員会正副委員長と専務理事打

支所総会関係開催状況

●平成18年
4月22日 岡山支部総会
30日 神奈川大学ラグビー部OB会支部総会
5月20日 保土ヶ谷・旭区支部総会
27日 札幌支部総会
●平成19年
1月17日 財政委員会
15日 体育振興委員会
7日 立準備委員会
7日 体育振興委員会
緑・青葉・都筑区(横浜北)支部設立準備委員会
25日 広報委員会
27日 表彰委員会
2月2日 広報委員会
緑・青葉・都筑区(横浜北)支部設立準備委員会
14日 企画委員会
3月1日 緑・青葉・都筑区(横浜北)支部設立準備委員会
7日 婦人部委員会
8日 戸塚・栄区支部設立準備委員会
12日 緑・青葉・都筑区(横浜北)支部設立準備委員会

12月6日 合せ
戸塚・栄区支部設立準備委員会
7日 立準備委員会
7日 体育振興委員会
緑・青葉・都筑区(横浜北)支部設立準備委員会
15日 立準備委員会
15日 体育振興委員会
1月17日 財政委員会
10日 北見支部総会
11日 西多摩支部総会
13日 神奈川大学学内校友会支部総会
17日 群馬支部総会
空手部OB会支部総会
18日 群馬東毛支部設立10周年記念総会
20日 京滋支部総会
20日 箱根支部総会
24日 帯広支部総会
三浦半島支部設立総会
25日 三重支部総会
和歌山支部総会
7月8日 伯耆支部総会
愛媛支部宇和島地区会
9日 神奈川大学陸上競技部OB会支部総会
13日 神奈川大学会計人会支部総会
14日 神大バスケットボール部OB会支部総会
6月1日 神奈川大学写真研究部OB会支部総会
3日 福岡支部総会
大阪支部総会
平塚支部総会
十五宮面会支部総会
4日 茨城支部総会
みやも電華会支部総会

| | |
|-------|-----------------|
| 22日 | 北海道ブロック会議 |
| 22日 | 北陸ブロック会議 |
| 21日 | 東北ブロック会議 |
| 21日 | 山形支部総会 |
| 22日 | 北陸ブロック会議 |
| 22日 | 富山支部設立50周年記念総会 |
| 28日 | 九州ブロック会議 |
| 28日 | 九州ブロック会議 |
| 11月3日 | 神大レスリング部OB会支部総会 |
| 11日 | 宮城支部総会 |
| 11日 | 新潟支部総会 |
| 11日 | 神奈川区支部総会 |
| 11日 | 神大卓球部OB会支部総会 |
| 12日 | 千葉支部総会 |
| 12日 | 佐賀支部総会 |
| 18日 | 四国ブロック会議 |
| 18日 | 徳島支部総会 |
| 18日 | 函館支部総会 |
| 18日 | 愛知みやも会支部総会 |
| 19日 | 防長宮陵会支部総会 |
| 19日 | 北九州支部総会 |
| 19日 | 秋田支部鹿角地区会 |
| 9月7日 | 愛媛支部東予地区会 |
| 30日 | 静岡中部支部総会 |
| 30日 | 静岡支部総会 |
| 9日 | 秋田支部総会 |
| 10日 | 近畿ブロック会議 |
| 23日 | 奈良支部総会 |
| 23日 | 静岡西部支部総会 |
| 24日 | 兵庫支部総会 |
| 10月7日 | 室蘭支部総会 |
| 14日 | 鹿児島支部総会 |
| 15日 | 神大吹奏楽部OB会支部総会 |

| | |
|--------|---------------------------|
| 24日 | 三洋みやも会支部総会 |
| 25日 | 岩手支部総会 |
| 25日 | 福島支部総会 |
| 25日 | 長崎支部総会 |
| 25日 | 相模原支部総会 |
| 12月2日 | 高知支部総会 |
| 12月2日 | 神奈川大学ボクシング部OB会支部総会 |
| 3日 | 小池ゼミナール六池会支部総会 |
| 9日 | 宮崎支部総会 |
| 9日 | クリエートメディアック支部総会 |
| 16日 | 柔道部OB会支部総会 |
| ●平成19年 | 香川支部総会 |
| 1月3日 | 鳥根支部総会 |
| 13日 | 熊本支部総会 |
| 20日 | 茨城支部鹿行地区会 |
| 27日 | 山梨支部総会 |
| 2月10日 | 佐世保支部総会 |
| 17日 | 筑豊支部総会 |
| 3月3日 | 岡山支部総会 |
| 5日 | 珊瑚の会支部総会 |
| 17日 | 戸塚・栄区、横浜北(緑・青葉・都筑区)支部設立総会 |
| 18日 | 愛媛支部総会 |
| 25日 | 津久井支部総会 |
| ●平成18年 | 佐藤甫先生の古希祝賀会 |
| 9月2日 | 山田先生を囲む会 |
| 15日 | 工学部機械工学科 |
| ●平成19年 | 工学部機械工学科 |
| 3月28日 | |

同期同好会開催状況

宮陵会表彰者

| | |
|---------------------------------|---------------------------------|
| 昭和38年卒クラス会 | 昭和38年卒クラス会 |
| ●功績表彰 | ●功績表彰 |
| 一、本部関係 | 一、本部関係 |
| 30法 渡辺徳平(元会長・副会長・専務理事・理事・監事) | 30法 渡辺徳平(元会長・副会長・専務理事・理事・監事) |
| ●功労表彰 | ●功労表彰 |
| 一、本部関係 | 一、本部関係 |
| 16・12機 川岸一正(元代議員会議長・代議員会副議長・理事) | 16・12機 川岸一正(元代議員会議長・代議員会副議長・理事) |
| 31工経 皆川潔(元副会長) | 31工経 皆川潔(元副会長) |
| ●感謝表彰 | ●感謝表彰 |
| 一、本部関係 | 一、本部関係 |
| 34経 島津英郎(元理事) | 34経 島津英郎(元理事) |
| 38法 貝田泰雄(元理事) | 38法 貝田泰雄(元理事) |
| 43経 瀬尾博(元理事・組織委員会委員長) | 43経 瀬尾博(元理事・組織委員会委員長) |
| 44建 小林満喜子(元理事) | 44建 小林満喜子(元理事) |
| 一、支部関係 | 一、支部関係 |
| 30法 佐藤康彦(元札幌支部事務局局長) | 30法 佐藤康彦(元札幌支部事務局局長) |
| 34経 安田公明(元帯広支部副支部長) | 34経 安田公明(元帯広支部副支部長) |
| 32貿 藤倉揚造(故人) | 32貿 藤倉揚造(故人) |
| (元岩手支部会計幹事・監査・顧問) | (元岩手支部会計幹事・監査・顧問) |
| 35貿 田岡通里(元愛知みやも会支部支部長・副支部長) | 35貿 田岡通里(元愛知みやも会支部支部長・副支部長) |
| 31経 井上敏弘(元兵庫支部副支部長) | 31経 井上敏弘(元兵庫支部副支部長) |
| 22経 野田清(元香川支部支部長・副支部長) | 22経 野田清(元香川支部支部長・副支部長) |
| 39経 草津愨郎(元佐賀支部事務局局長) | 39経 草津愨郎(元佐賀支部事務局局長) |
| 30短法 西山年雄(元藤沢支部幹事長) | 30短法 西山年雄(元藤沢支部幹事長) |

新支部紹介

| | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| ●戸塚・栄区支部 | ●戸塚・栄区支部 |
| (平成19年3月17日設立総会、4月20日理事会承認) | (平成19年3月17日設立総会、4月20日理事会承認) |
| 支部長 大川英喜(33経) | 支部長 大川英喜(33経) |
| ●横浜北(都筑・緑・青葉区)支部 | ●横浜北(都筑・緑・青葉区)支部 |
| (平成19年3月17日設立総会、4月20日理事会承認) | (平成19年3月17日設立総会、4月20日理事会承認) |
| 支部長 渡邊 武(33法) | 支部長 渡邊 武(33法) |
| 新支部長紹介 | 新支部長紹介 |
| ●徳島支部 | ●徳島支部 |
| 佐藤幸雄(41法) | 佐藤幸雄(41法) |
| ●神大卓球部OB会支部 | ●神大卓球部OB会支部 |
| 一戸英輔(36貿) | 一戸英輔(36貿) |
| 訃報 | 訃報 |
| 謹んでお悼やみ申し上げます | 謹んでお悼やみ申し上げます |
| 弓削達殿 | 弓削達殿 |
| 元神奈川大学短期大学教授 | 元神奈川大学短期大学教授 |
| 平成18年10月14日逝去 | 平成18年10月14日逝去 |
| 古畑威殿 | 古畑威殿 |
| 神奈川大学名誉教授 | 神奈川大学名誉教授 |
| 平成18年10月18日逝去 | 平成18年10月18日逝去 |
| 伊東正巳(20工経) | 伊東正巳(20工経) |
| 元岩手支部副支部長 | 元岩手支部副支部長 |
| 平成18年12月3日逝去 | 平成18年12月3日逝去 |
| 山手一雄(15商) | 山手一雄(15商) |
| 元苫小牧支部支部長 | 元苫小牧支部支部長 |
| 平成18年12月4日逝去 | 平成18年12月4日逝去 |
| 吉田勅夫殿(18工経) | 吉田勅夫殿(18工経) |
| 元山形支部支部長 | 元山形支部支部長 |
| 平成19年2月13日逝去 | 平成19年2月13日逝去 |

支部だより



**北海道ブロック会議
苫小牧支部総会**
平成18年7月22日

① 理事長 白井 宏尚
会長 狩野 七郎
苫小牧グランドホテル
ニュー王子

**東北ブロック会議
山形支部総会**
平成18年10月21日

① 理事長 白井 宏尚

② 77名ほどの会員であり、年間に一度も来られない方が徐々に増えつつあります。また新会員の方も個人情報のためか加入に際し厳しいものがあります。今回は新聞広告と紹介で3名加入。初めて北海道ブロック会議開催にて何とか成功裏に納めた感があります。

③ 3月 年度総会
6月 親睦ゴルフ開催
9月 パークゴルフ開催
7月 当地北海道ブロック会議開催



副会長 武笠 健次
講師 兼子 良夫助教

② 山形国際ホテル
52名(うち山形県32名)

③ 1時半から県支部総会を行い新支部長に阿蘇司朗(S31、電気、鶴岡市)を選出し、事務局を鶴岡市に置くことになった。



④ 富山支部創立50周年の節目を迎え、福井、石川支部をまじえ北陸ブロック会議を同時開催。山火学長の記念講演(安楽死・尊厳死)。大学より山火学長、貝田常務理事、佐藤学長室長、宮陵会より狩野会長から近況を聞くことが出来た。3年振りの総会でもあり、同窓生の交流が図られた。

⑤ 定期総会が3年に1度につき小規模行事及び参加が主たる

**四国ブロック会議
徳島支部総会**
平成18年11月18日

① 理事長 白井 宏尚
会長 狩野 七郎



**九州ブロック会議
沖縄支部総会**
平成18年10月28日

① 理事長 白井 宏尚
会長 狩野 七郎



④ 九州ブロック会議が平成18年10月28日に、沖縄支部主催で開催されました。また、ブロッ

- 北海道ブロック会議 苫小牧支部
東北地区ブロック会議 山形支部
北陸ブロック会議 富山支部
近畿ブロック会議 奈良支部
四国ブロック会議 徳島支部
九州ブロック会議 沖縄支部
- 札幌支部 帯広支部 室蘭支部 北見支部 岩手支部 秋田支部 鹿角支部 宮城支部 福島支部 新潟支部 富山支部 千葉支部 茨城支部 群馬支部 群馬東毛支部 静岡西部支部 愛知みやも支部 三重支部 和歌山支部 兵庫支部 京滋支部 岡山支部 防長宮陵支部 伯耆支部 香川支部 愛媛支部
- 高知支部 福岡支部 筑豊支部 北九州支部 佐賀支部 長崎支部 熊本支部 大分支部 宮崎支部 鹿児島支部 鹿儿島支部 保土ヶ谷：旭区支部 相模原支部 箱根支部 西多摩支部 南足柄支部 戸塚・栄区支部設立総会 横浜北支部設立総会(都筑区・緑区・青葉区) 三洋みやも支部 クリエイトメディック支部 神奈川大学会計人会支部 十五宮面支部 みやも電華支部 神奈川大学ボクシング部OB支部 神大バスケットボール部OB支部 空手部OB支部 柔道部OB支部 神奈川アマリカフットボール部OB支部 神大レスリング部OB支部 神奈川大学ラグビー部OB支部 神大卓球部OB支部 神奈川大学写真研究部OB支部 女性会員のつどい支部

- ①大学・宮陵会からの出席者
②開催場所
③参加人数
④開催コメント
⑤支部活動(年間予定)

**北陸ブロック会議
富山支部総会**
平成18年10月22日

① 学長 山火 正則
常務理事 貝田 泰雄
学長室長 佐藤 武
会長 狩野 七郎

② 富山県民会館
52名(他大学3名、宮陵会1名、福井5名、石川5名)

③ 富山支部創立50周年の節目を迎え、福井、石川支部をまじえ北陸ブロック会議を同時開催。山火学長の記念講演(安楽死・尊厳死)。大学より山火学長、貝田常務理事、佐藤学長室長、宮陵会より狩野会長から近況を聞くことが出来た。3年振りの総会でもあり、同窓生の交流が図られた。

⑤ 定期総会が3年に1度につき小規模行事及び参加が主たる

**近畿ブロック会議
奈良支部総会**
平成18年9月10日

① 理事長 白井 宏尚
秘書室 渡辺 仁美
会長 狩野 七郎
ホテルフジタ奈良
24名

④ 本年度は(社)宮陵会近畿ブロック会議を奈良支部で担当することとなり、奈良にちなんで吉野大峯山で厳しい山岳修行を積まれた中井教善師から「山伏の姿と心」と題して講演をいただいた。ブロック会議に先駆け支部総会を開催したが、支部出席会員9名と相変わらず低調なものとなり反省している。

⑤ 春(4月)・秋(9月)年2回有志によるゴルフコンペ開催。

② ホテルグランドパレス徳島
③ 29名
④ 今年は、役員改選があり、新会長佐藤幸雄が選出され、その他にも一部改選がありました。このたびは、四国ブロック会の担当支部となり、理事長ならびに会長の臨席を賜わり、神奈川大学及び宮陵会の現状・大学としての今後の方向等の説明を受けた後、徳島支部及び各県ブロックの会員との意見交換ならびに昔の思い出に話がはずみました。

⑤ 春・秋の2回 支部長杯ゴルフ大会 年間4、5回の役員会 毎年四国ブロック会の出席 その他、総会の出席率を向上するためのイベントを模索中 ※総会案内を送付するも、会員の住所移動により住所確認が難航



ク会議の受け入れ準備のため、6月24日に支部臨時総会も開催しました。

ブロック本会議には大学当局から白井宏尚理事長、宮陵会本部からは狩野七郎会長を始め、九州各支部から支部長他26名が参加され、支部会員を含め、43名が出席した。会議では津田九州ブロック長の挨拶と九州支部長会議の報告が始まり、続いて白井理事長と狩野会長の来賓挨拶があり、大学及び宮陵会の近況と課題等が報告され、久々に母校の動向を知ることが出来ました。九州ブロック会議は、沖縄開催をもって3巡することになり、次回からは4巡目となり、長崎支部で開催が決まりました。次回開催地の長崎の平山支部長と佐世保の池田副支部長の長崎開催に向けての熱烈歓迎の挨拶のあと、引き続き懇親会に移り、沖縄支部の稲嶺先輩の乾杯の首頭で祝宴となり、琉球舞踊が披露され、久々に同期生と再会するなど、なごやかな雰囲気の中で会員相互の絆を深める宴となった。今回は、支部会員の参加が少なかつた一因が総会

を中断していたことにあり、総会等は規約どおり毎年度開催すべきことを痛感いたしました。

最後に、大学、宮陵会役員事務局には、格別のご配慮を賜り、併せて九州各支部の交友のご協力を仰ぎ、ブロック会議を成功裡に終了したことに對し、心から厚くお礼申し上げます。

⑤ 平成19年度中に総会及び臨時総会を開催予定
支部役員若返りと活性化を図りたい。

札幌支部総会
平成18年5月27日

① 副会長 武笠 健次
父母懇談会関係スタッフ (8名)

② 京王プラザホテル札幌 86名

③ ④ 前年に比べて出席者が少なかったが、武笠副会長、大学の父母懇談会関係者を含めて、楽しい総会・懇談会となった。例年プログラムに組み込んでいた講演も今年は、札幌出身の卒業生、スポーツ作家佐野正幸氏を迎え、プロ野球の裏話等で盛り上がった。懇親会のアトラクションも、佐野氏の著書、即売サイン会、40年代の会員の合唱グループ(サスピシャス・フロイデ)によるミニコンサート等があり、総会後は約半数が2次会へ流れた。

⑤ 平成18年5月27日
札幌支部総会、懇親会、会報第7号の発行
平成18年7月22日
札幌支部親睦ゴルフコンペ
平成18年7月22日
北海道ブロック会議(苫小牧支部開催)



平成18年8月19日20日
駅伝チーム合宿応援(深川市にて)

9月、懇親会
12月、忘年会
1月、新年会
その他、役員会幹事会等を随時開催

帯広支部総会
平成18年6月24日

① 理事長付審議役 打田 一夫

② 帯広ワシントンホテル 16名

③ ④ 現支部役員記憶では初めてという大学本部からの来賓をお迎えし、参加人員もこの数年では最高の集まりとなり、大変盛り上がった総会となりました。来年の北海道ブロック会議当番支部としての準備に向けてのサポートについてもよろしくお願いいたします。

⑤ 7月、北海道ブロック会議(苫小牧支部)出席(4名予定)

北海道ブロック会議当番に向けての準備委員会設立を行う。
9月、パークゴルフ大会開催

北見支部総会
平成18年6月10日

① 副会長 武笠 健次
② 網走観光ホテル 20名



室蘭支部総会
平成18年10月7日

① 専務理事 秋田 琢次
② ホテルサンルート室蘭 15名

③ ④ 室蘭支部の親睦総会は通常通り100名の同窓生にご案内し、可能な範囲の出席を賜った。今回は本部より専務理事が来蘭された。また苫小牧支部の有志とのコンペも企画した。例年の如く、出席数は高齢のため減少している状況。

⑤ 1、年1回通常総会(10月中旬)開催。来期は早目を予定。
2、上記で同時に親睦ゴルフ大会開催と懇親会。
3、小グループでのゴルフコンペ。(6月頃予定)
4、支部の一部(少人数)で会食会を開催。(4月頃予定)

岩手支部総会
平成18年11月25日

① 副会長 武笠 健次
② 碓氷「秀ひら」 28名

③ ④ 宮陵会から武笠健次副会長のご出席をいただき開催。岩手



④ 設立総会以来11年目をむかえる。健康上の理由で早坂支部長が退任され、新支部長に橋爪氏が就任する。昨年支部総会の開催を北見、網走、紋別三市の持ち回りとするに議決された。今年は網走市での開催となったが地域会員のご協力で盛会のうちに終了することが出来た。

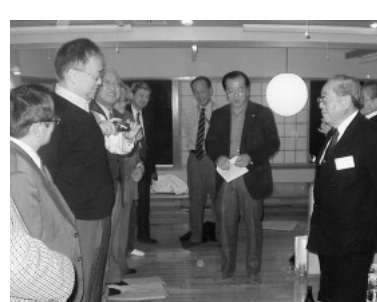
⑤ 平成18年7月13日 支部会員に平成18年度支部総会報告及び、支部会員名簿発送。
平成18年7月22日 北海道ブロック会議出席(苫小牧市)
平成18年8月28日 遠軽町駅伝チーム合宿、激励会出席。

秋田支部鹿角会
平成18年11月18日

① なし
② 鹿角市花輪地内「ふくはうち」 6名

③ ④ 総会は、秋田支部総会の報告から始まり、諸連絡の項では、社団法人宮陵会定款施行規則の改正に伴う会費の改定について、特に詳しく説明がされた。その後の議事では、決算と予算は、それぞれ原案のとおり認定、議決されるとともに、今年度の寄付金は陸上競技部を対象とすることとした。

⑤ 秋田支部活動への積極参加



支部としては例年になく参加人員が28名と少なかった。50年以降の卒と女性会員の参加が少なく今後の大きな課題です。平成21年には岩手支部創立60周年を迎えます。より多くの会員の参加と社会貢献できるイベントを模索中です。

⑤ 2007年
2月 新年交賀会
5月 ゴルフコンペ
8月 納涼ビアパーティ
11月 定時総会
その他随時幹事会。

・神大スポーツ文化振興会への援助金支援

宮城支部総会

平成18年11月11日

- ① 専務理事 平能 孝一
体育振興委員長 手塚 正
エクセルホテル東急
(オークの間)
- ③ 60名
- ④ 進行は46年卒の細木幹事長に運営していただき18年度事業報告ならびに19年度の事業計画案、慶弔規定、監査役員の一人名簿など総会の議事進行は滞りなくスムーズに執り行われました。続いて、懇親会に移りました。今回は初参加の会員も6名ほどおられ、各人自己アピールタイムではかなり盛り上がりがありました。今回は円形テーブルにて、各人がテーブルを回るようにし、大いに懇親を図ることが出来ました。また最後は恒例の小林団長の元、校歌斉唱にて散会となりました。



部総会開催
異業種による同業種、交換の充実(六友会：食品関連、いずみ会)

- 2、会員間による同業種、異業種による同業種、交換の充実(六友会：食品関連、いずみ会)
- 3、総会その他会合への女性会員と若年参加者意識の促進 (幹事 今野洋子、佐藤孝年)
- 4、石巻エリアの会員との交流を図る
(花火鑑賞会 幹事 神農太郎)
- 5、会員名簿の整理および管理(プライバシー保護法をふまえて)
- 6、会員各自の健康増進を図り、懇親ゴルフコンペを開催(4月 10月 幹事 竹谷健一)
- 7、吹奏楽団を呼び、宮陵会の活性化を図りたい(幹事 安藤 透)
- 8、毎月第3水曜日PM6時より”晩酌炉談”(OBの店蕎、そば処 福はらにて)
- 9、会則の見直し慶弔規則作成
- 10、その他

福島支部総会

平成18年11月25日

- ① 事務局次長 稲垣 俊博
専務理事 秋田 琢次
ホテル ハマツ
- ③ 26名
- ④ 2年間のブランクを経て、再結成の今回の総会で、役員選出では、藤田幸治氏が支部長に選任された。福島県は面積が広く、県内を6地域に分け、各地域担当として、6人の副支部長



を選出し、活性化を図ることを確認した。

新潟支部総会

平成18年11月11日

- ① 副会長 武笠 健次
講師 池上 和夫教授
- ② 新潟東急イン
- ③ 30名
- ④ 11月11日(土) 新潟駅前東急インにおいて、本部より武笠副会長、講師に池上経済学部教授をお迎えして開催いたしました。出席は30名、女性の出席はありませんでした。今回は長



- ⑤ 1、定期総会の開催
- 2、ゴルフコンペ
- 3、ブロック会議参加

岡市に於いて開催する事を決めて、閉会いたしました。

千葉支部総会

平成18年11月12日

- ① 専務理事 秋田琢次
体育振興委員長 手塚 正
千葉市東天紅
- ③ 55名
- ④ 本年は、宮陵会から専務理事の秋田氏及び体育振興委員長の手塚氏を迎えての「千葉の集い」であった。手塚氏の大学での体育活動の詳しい状況説明があり、会を盛り上げた。参加人数が昨年より減少した事、内容、日程等今後の課題とした。
- ⑤ 箱根駅伝への支部有志による沿道応援。



茨城支部総会

平成18年6月4日

- ① 講師 北岡 正敏教授
専務理事 秋田 琢次
水戸三の丸ホテル
- ③ 33名
- ④ 6月4日(日) 茨城支部総会が県央地区水戸三の丸ホテルにて33名の出席者にて、開催さ

れました。総会、北岡教授による特別講演そして懇親会と行われ、次回の再会を約束して閉会しました。今回は平成17年卒の若者の参加が興味をひきました。

群馬支部総会

平成18年6月17日



- ① 事務局次長 平能 孝一
高崎ビューホテル
- ③ 31名
- ④ 今、総会では、役員改選が大きな議題でありましたが、新たに地区ブロック担当役員を加え、更なる会員の参加を呼びかけることとなり、ゴルフコンペを開催する事で親睦を深めることになりました。懇親会の席上、会員の勤務先である前橋育英短大のハイアンプラザのフラダンスも披露されました。

2、箱根駅伝必勝ダルマの贈呈 (6月17日)

- 3、父母懇談会に出席 (7月9日)
- 4、剣道部夏季合宿を激励、慰問 (8月26日)
- 5、親睦ゴルフコンペ (10月22日)
- 6、支部新年会 群馬東毛支部と合同(平成19年2月3〜4日)
- 7、役員会 (随時)

群馬東毛支部

平成18年6月18日

- ① 専務理事 平能 孝一
太田ナウリゾートホテル
- ③ 26名
- ④ 平能孝一専務理事と群馬支部長をお迎えし設立10周年総会を開催した。駅伝の話が出て懇親会の席でビンゴゲームをし、売上金を陸上競技部へ寄付する事になりました。大変楽しい懇親会となり親睦ゴルフのPRをして、校歌を合唱し1本締めでお開きとなりました。
- ⑤ 1、6月..太田市大学交流チャリティゴルフへの参加。



- 2、6月..総会。
(設立10周年)
- 3、月..親睦ゴルフ大会。
(10月21日双葉CC)
- 4、12月..太田市大学ジャ
ズフェスティバルの後
援。
- 5、1月..群馬支部と合同
で、伊香保温泉1泊。
(設立10周年行事)
- 6、春・秋、年2回の役員
会開催。



静岡西部支部総会
平成18年9月23日

- ① 事務局長 平能 孝一
- ② オークラクトシティー
ホテル浜松3F
チエルシーの間
- ③ 29名
- ④ 本年度もジャズバンド「ゴ
ールデンスターズ」を迎え、華
やかなジャズの演奏を聴きなが
ら懐かしい大学生活について語
り合うことが出来ました。昭和
45年卒の成澤孝夫氏の美声と平
成12年卒の杉山貴裕氏のトラ
ンペット伴奏に合わせて校歌を斉
唱し、次回の再会を期して本年
の総会を終りました。
- ⑤ 年間3回(7月・9月・11

月)事務局会議を開催し、総会
の打ち合わせ、反省会を行いま
す。例年9月末に総会を開催す
る予定となっております。



愛知みやも会支部総会
平成18年11月18日

- ① 専務理事 平能 孝一
- ② マリオットアソシアホテル
21名
- ③ 平成18年11月18日(土)、
宮陵会より平能孝一専務理事を
お迎えして名古屋駅前マリオッ
トアソシアホテルに於て支部総
会を開催した。宮崎副会長の司
会により、議題を進め、承認さ
れた。その後、平能専務理事よ
り田岡前会長の表彰をして戴
き、大学の現状等をお話し戴い



た。その後懇親会に入り、前年
同様シャンソン歌手のアトラク
ションを楽しみ親睦を深めた。
平林(34賢)会員の中締めのお
と来年の再会を期して散会し
た。

三重支部総会
平成18年6月25日

- ① 事務局次長 小林 孝吉
- ② 四日市シティホテル
- ③ 26名
- ④ 出席と返事のあった31名の
内、当日急遽都合が悪くなった
5名を除く26名で物故会員への
黙祷後総会に入り、17年度事業
決算と18年度事業活動計画等決
議事項の承認がなされる。記念
撮影後、懇親会に移り、和氣諸々
のなか懇談が続く。余興は会員
が用意したクイズで頭を捻り、
最後に全員で校歌を伴奏に導か
れて声高々に歌い上げ、雲間気
が最高潮に達したところ予定の
時間を迎え、来年の再会を誓
い一つお開きとなりました。
- ⑤ (通年) 検討・改善・研究
事項



「魅力ある校友会三重県支
部を目指して」
―組織の充実・活性化情
報適正管理と共有―
・現存3クラブの維持発
展(1クラブ年間3回行
事開催予定)
・第38回全日本大学駅伝
応援(ブロックごとの沿
道・ゴール地点応援)

和歌山支部総会
平成18年6月25日

- ① 組織委員長 勇 真一郎
- ② ホテルグランヴィア和歌山
シエグランの間
- ③ 22名
- ④ 宮陵会より勇組織委員長を
迎え、出席者22名で開催。会員
の吉村純三氏による「北方四島
を訪問して」の講演もあり、楽
しい宴となりました。
- ⑤ 9月に会報「神和会」発行
予定



兵庫支部総会
平成18年9月24日

- ① 講師 大石不二夫教授
- ② 専務理事 秋田 琢次
- ③ 楠公会館

③ 41名
④ 本年度も9月24日に楠正成
公を祀る楠公神社境内にある楠
公会館にて、宮陵会より秋田専
務理事、大学より大石教授、大
阪支部より2名、京滋支部より
1名、兵庫支部は昨年より3
名少ない36名、計41名にて開催
された。出席者の関心事はやは
り大学の現況、特に箱根駅伝、
女子サッカー部等の活躍、ロー
スクール等にあった。又 大石
教授にベンチャービジネスにつ
いて有意義な講演を戴いた。

京滋支部総会
平成18年6月18日

- ⑤ 校友会活動により参加して
頂く事。
- 1、新年会の開催
- 2、大学の現況を卒業生に知
らせる。昨年女子サッカー
部の試合が神戸市であり、
全卒業生に連絡した所、多
くの卒業生が応援に来て頂
いた
- 3、他支部と合同行事を行う
(ゴルフ大会等)



京滋支部総会
平成18年6月18日

- ① 事務局次長 土方 敏裕

② 京都新阪急ホテル
③ 27名
④ 平成18年度の総会でのイベ
ントとして、琴・尺八のミニコ
ンサートを行った。琴(福原佐
和子、プロ)、尺八(昭和47年
応化幸田代圭介)で成功であ
った。今後、会員の参加を増す
べく工夫をしていくつもりで
す。

岡山支部総会
平成18年4月22日

- ⑤ 新年会 2月
支部総会6月
他支部総会・ブロック会議
参加
(大阪・奈良・兵庫・和歌
山支部)
- ① 副会長 武笠 健次
- ② ホテルエクセル岡山
44名
- ③ 今年で6回目を迎えた神奈
川大学校友会岡山支部総会、及
び、懇親会が盛況のうちに終え
ることが出来ました。岡山から
人里はなれた「横浜キャンパス」
を懐かしみ、参加者は33歳〜88
歳までの幅広い世代が総勢50名
ほど集まりました。総会では、
平成17年度の事業・会計報告が
あり、新年度事業計画案・幹事



京滋支部総会
平成18年6月18日

立案などを承認しました。途中、現在の神奈川大学の様子や箱根駅伝のビデオが放映されました。懇親会に移り、「神大ビール」で乾杯し、参加された方々の近況報告や大学時代の思い出など酒を交わしながらわきあいあいと楽しみました。最後に、「寮歌」「応援歌」「校歌」を全員で斉唱し、大いに盛り上がり閉会しました。今回、都合が悪くこの日一緒にできなかった方がいらっしやいましたら、次回はずいお持ちしております。安東支部長のもと当日は、受付、会場案内、進行、音響、会計などのスタッフに幹事10名があたり総会と懇親会の運営をサポートしました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。(地元紙・山陽新聞に掲載予定)



防長宮陵会支部総会

平成18年11月19日

- ① 副会長 新井 三夫
- ② ホテルみやげ
- ③ 15名

④ 40数年一度しか経験の出来ない、国民文化祭が地元山口で開催され、何らかの形で参加された諸兄が多いなか、例年より一週間早い時期ではありましたが、支部総会を開催いたしました。今年は、本部から新井副会長のご出席をいただきました。学校の現状や将来展望までのお話、特に少子化の中で生き残る学校経営、興味深くうかがいました。宮陵会本部、クラブ活動などのお話も、諸先輩や後輩達の活躍に意を強くしました。懇親会のオープニングは、県立大学フラスコ部を招待し異国の音楽と踊りを堪能いたしました。出席者一同には、大変好評を得ました。最高齢の先輩の乾杯が始まり、その後は、程よい出席数でしたので、一人ひとりが近況を発表し、お互いの健康や活躍状況を称えあいました。

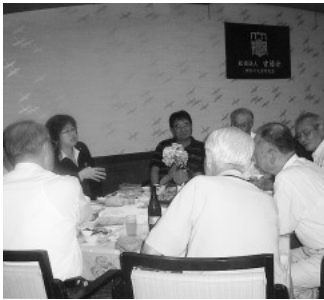


- ⑤ 総会年一回。
- ※昨年は出雲駅伝応援。
- ・19年度末(20年3月)までに萩地区での地区総会を開催する。
- ・19年度末(20年3月)までに、周南地区での同窓生をまとめる。
- ・19年度 本部ホームページに紹介、参加はかかると。
- ・19年11月中旬 支部総会

伯耆支部総会

平成18年7月8日

- ① 経営企画室長 福元 摩湖
- ② 米子ニューアーバンホテル 21名
- ③ 本年度の支部総会は、本学より初の女性来賓として、経営企画室室長福元摩湖様にご出席を賜るなか、各議案が承認され、本年度も谷本正紀支部長(S42年法卒)を初めとする、現役員体制の継続となりました。2週間前に行われた、米子市議会選挙で見事6選をはたされた、山形周弘氏(S45年経卒)の報告もあり、2年後に控えた支部創立20周年記念事業の話題で盛会となりました。
- ⑤ 母校訪問と箱根駅伝予選会応援ツアー
- ・全日本大学駅伝応援ツアー
- ・支部創立20周年記念事業の立案会開催



香川支部総会

平成18年1月3日

- ① 副会長 磯邊 晃
- ② ホテルニューフロンティア 40名
- ③ 平成19年1月3日(水)午後12時から香川支部総会を開催

した。この席で野田前支部長が本部から感謝表彰を受け、これまでの功績を讃えられた。総会終了後、記念撮影を行い、午後12時40分から懇親会に移り、会員間の親睦と交流を深めることができた。特に今回平成18年卒の会員2名の参加があり、心強く思った。



愛媛支部総会

平成18年3月18日

- ① 専務理事 平能 孝一
- ② 三翠園ホテル 27名
- ③ 三翠園社長(前高知市長)を講師に迎え、NHK大河ドラマ「功名が辻」を題材に楽しい

- ⑤ 香川支部総会
- 18年2月5日
- 丸亀ハーフマラソン神大OB選手の応援
- 18年5月27、28日
- 「かがわ国際フェスタ 2006」ボランティア参加
- 18年10月28日 役員会
- 18年11月
- 香川支部ホームページ開設
- 18年11月18日
- 四国ブロック会(徳島市) 役員会
- 18年12月16日
- 19年1月3日
- 香川支部総会(神大レポートIIIを発行)

アイビスホール

③ 24名

④ 18年度中の会員物故者へ黙祷の後、総会議事に入り役員改選については、支部長は現支部長八木健治氏(50経)を再任、事務局会計担当の栗田氏急逝により事務局体制を刷新することとした。15年間事務局を務めた中後介氏(46法)から明比神一郎氏(52経済)に交代した。19年度は四国ブロック会議の開催県として11月17日(土)を予定したい。同日には、学校法人が愛媛県内子町に創立者米田吉盛先生の胸像建立の式典の計画があり、翌18日(日)に吹奏楽部演奏会が松山市民会館で企画されている。このように多彩な企画があり会員の総力を結集して成功裏に導きたい。



高知支部総会

平成18年12月2日

- ① 専務理事 平能 孝一
- ② 三翠園ホテル 27名
- ③ 三翠園社長(前高知市長)を講師に迎え、NHK大河ドラマ「功名が辻」を題材に楽しい

- ⑤ H18年4月 幹事会・花見 参加約20名
- H18年6月 幹事祝 参加約20名
- H18年11月18日 四国ブロック会 徳島 5名参加
- H18年12月2日 高知支部総会 27名
- (予定)
- H19年3月 花見
- H19年5月 ゴルフ大会



福岡支部総会

平成18年6月1日

- ① 事務局次長 稲垣 俊博
- ② 居酒屋 天天 23名
- ③ 福岡支部をリニューアル！現在平成の大合併が話題になっており、主要都市および地方市町村間での統廃合が進められています。これまで私ども福岡県内には4支部と多大であり、支部間でのエリアが輻射していました。したがって今回一部支部を統合することにより、支部のスリム化及び支部活性化の効果を期待しています。
- ④ 将来は2支部へ。(福岡支部・北九州支部)



④ 夕方6時からの総会は、弁舌爽やかな平能専務理事の箱根マラソンの話や、学校の情報を詳しくお聞きし、和気藹々の中始まった。平能氏と同年輩の参加者が多かったため、車座の話の中では当時の教授の名前が飛び交い、時間の経つのも忘れ、あっという間に時計は9時を回ってしまっただけ。一人でも多くの出席者を集めるように努力し、

筑豊支部総会
平成19年2月17日

- ⑤ 1、2月 支部「新春のつどい」
- 2、4月 支部「ヤングのつどい」
- 3、6月 支部「会員のつどい」
- 4、7月 「父母懇談会」
本学後援会主催
- 5、9月 「九州ブロック会」
那覇市
- 6、10月 「本学ホームカミングデー」
7、支部親睦ゴルフ大会
(4回/年)

- ① 副会長 磯邊 晃
- ② はがくれ荘
- ③ 11名
- ④ 磯邊晃副会長をお迎えして

佐賀支部総会
平成18年11月12日



- ① 副会長 新井 三夫
- ② 中華飯店「小倉飯店」
- ③ 24名
- ④ 本部より新井三夫副会長をお招きし、昨年同様小倉飯店にて会費5000円で開催しました。やはり若手の集まりが悪く、今後は三地区(小倉、八幡、京築)に比較的若い担当者を配置し、活性化を計る事にしました。
- ⑤ 4月・7月・10月 役員会
8月 在学生との交流会
11月 支部総会
別に京築ブロック会
1月・8月開催

北九州支部総会
平成18年11月18日

次の総会での再会を約束し散会した。
⑤ 人数が少ないので特にありませんが、支部の会員名簿を全員に送ってあげたいと思っています。



① 広報委員長 久米 信行
② ホテル セントヒル長崎
③ 12名
④ 総会案内を262通発送し、返送があったのは転居先不明3名を含め57通22%弱でした。参加者も、平成の卒業生はゼロで、今後若い人たちにどうアプローチしていくかが課題です。
⑤ 平成19年6月支部総会を開き、10月開催予定の、長崎での九州ブロック会議の成功に向けて準備したい。

長崎支部総会
平成18年11月25日

の総会であった。母校のキャンパスの変貌振りを聞き成長、発展を再認識した。地域支部では特にスポーツや学問面での活躍で母校の名前が発表され大いに勇気付けられる。母校が21世紀において充実した選ばれる大学になるよう支部会員一同尽力したい。
⑤ 8月 佐賀支部役員会
10月 九州ブロック沖縄大会出席
11月 佐賀支部総会
11月 佐賀県青春祭歌祭へ参加

- ① 副会長 新井 三夫
- ② 大分第一ホテル



・支部のホームページを作成予定
・10月九州ブロック会議参加
・6月慶祝(歳祝い)の会開催
・県内地区会随時開催

熊本支部総会
平成19年1月20日

① 専務理事 平能 孝一
② カネーションサロン
③ 40名
④ 昨年の平塚軟式野球部来熊時のお礼にと、野球部の田島陸浩部長と後藤喜太郎コーチが特別参加。今回、浦田剛敏会員が作成した「熊本支部の歌」を総会にて初披露。今年より6月に歳祝いの慶祝会を開催する事とし、総会と併せて年2回集まる事により、支部の今後のますますの活性化を図る事とした。
⑤ ・毎月第三木曜日に理事会開催、県内地区会随時開催

- ① 専務理事 平能 孝一
- ② ホテル浜荘
- ③ 22名
- ④ 支部総会に先立ってゴルフコンペ(4組)を行いました。優勝者は61法岩本君。総会・懇談会では全員が近況を報告。楽しい分かち合いました。近年若い世代の参加者が増えているのが喜びです。
- ⑤ ゴルフコンペ 4組

宮崎支部総会
平成18年12月3日



③ 32名
④ 約30年前、大分支部設立以来、初めての女性OB(江口尚子氏)が参加。また平成17年卒の河野洋平氏から昭和28年卒の佐野昌良氏まで文字通り老若男女が32名参加し、スピーチ・ビンゴゲーム・校歌斉唱等で大いに盛り上がった。
⑤ 平成18年7月22日 大分支部総会
平成18年1月28日 九州ブロック会議
沖縄大会参加

- ① 専務理事 秋田 琢次
- ② モンテファールレヨコハマ



① 副会長 武笠 健次
② 焚火処 盛蔵
③ 20名
④ 平成18年10月14日、当支部総会を焚火処盛蔵で開催した。宮陵会本部より武笠副会長においでいただき感謝申し上げます。昨年当支部は九州ブロック大会の開催地でありましたが、本年度は例年のホテルでの開催から居酒屋に変更してみました。参加者は例年より減少しましたが、初参加者が2名あり、内1名は女性、1名は平成16年卒の若者で大変嬉しく思いました。いつもと多少雰囲気の違い、戸惑いもありましたが、反省点は反省点とし、来年は更に参加者の増を図るべく役員一同、心新たに頑張りたい。
平成19年1月 新年会
10月 支部総会

鹿児島支部総会
平成18年10月14日

忘年会 約20人参加
支部総会 2年に1回開催

- ③ 24名
- ④ 開会(司会) ↓支部長挨拶
↓来賓ならびに出席者紹介↓来
賓挨拶↓議題(17年度事業報告
について、17年度収支報告・監
査報告について、18年度事業計
画及び予算について、その他)
↓講演その他イベント↓懇親会
↓閉会
- ⑤ 平成18年度事業計画

- 1、会議
- 役員会・総会開催
- 2、会員名簿
- 作成・発行
- 3、会報
- 作成・発行
- 支部設立10周年記念号
- 4、ホームページ(H.P)
- 立上(体裁)内容
- (書込)検討
- 5、親睦会
- 6、本部要請への対応
- 7、その他目的達成に
必要な事項



相模原支部総会

平成18年11月25日

- ① 理事長 白井 宏尚
- 専務理事 平能 孝一
- 相模大野
- ホテルセンチュリー

- ③ 25名
- ④ 約500名に案内。欠席者
含め返信は70通。若い人の参加
がない。
- ⑤ 総会 毎年11月予定。
箱根駅伝応援
1月2日 湯本。
(終了後新年会。5〜10名)



箱根支部総会

平成18年6月20日

- ① なし
- ② ホテル おかだ
- ③ 8名
- ④ 平成18年度箱根支部総会を
箱根湯本ホテルおかだを会場と
して開催いたしました。永峰支
部長の挨拶で始まり、その中で
母校の現状報告等がありまし
た。乾杯は南足柄支部事務長の
茂原氏の首頭で行い、行事報告、
今年度の活動について意見交換
を行い、なごやかな中に、お開
きになりました。
- ⑤ 1、6月20日
- 総会、懇親会
- 2、10月中旬 ゴルフ大会
- 3、駅伝応援会

西多摩支部総会

平成18年6月11日

- ① 理事

杉村 美智子

婦人部委員長

川島 佳代子

② 羽村市生涯学習センター

「ゆとりろぎ」2F会議室

③ 9名

④ 今回、来賓に女性役員の方
のご参加で、「支部活動への女
性参加促進」について、婦人部
委員会の現状など意見交換をし
ました。結論は出ませんが、お
互いに現状認識が出来ました。

⑤ 年1回の総会と集いの開
催、毎月の役員による定例会開
催、支部会報の発行など、昨年
と同様ですが、本年は10月に箱
根駅伝予選会が、立川市と昭島
市で開催されます。同地区の卒
業生へ西多摩支部から応援依頼
の通知を出す予定です。



南足柄支部総会

平成18年6月10日

- ① 専務理事 平能 孝一
- ② 南足柄市女性センター
- ③ 12名
- ④ 宮陵会本部から平能孝一
氏、相模原支部長岡野一雄氏が
来賓としてご出席を頂き、会員
参加12名、委任状が15名で総会
成立後、事務局提案の17年度事
業報告、会計報告、監査報告が
説明された。その承認後18年度

横浜市 区支部設立総会開催される

一昨年から、横浜市内の組織化を検討してきた企画委員会の答申に呼
応して、横浜市内の5区が、それぞれ合同で支部結成の準備委員会を
立ち上げてこのたびの運びとなった。去る3月17日に大学に賛同者が
集いこのたび支部が設立された。

戸塚・栄区支部設立総会

平成19年3月17日

- ① 会 長 狩野七郎
- 副会長 新井三夫・武笠健次
- 専務理事 秋田琢次・平能孝一
- ② 神奈川大学11号館12番教室
- ③ 19名 加入者49名 在住者数2、470人
- ④ 設立総会は、支部会則案ならびに役員候補者
案、そして平成19年度事業計画と予算項目案
を審議し準備委員会の原案に基づき承認され
発足する運びとなった。新支部長に大川英喜
(33経済)、副支部長に原田義彦(44貿易)・
前田和男(33法)が選出された。事務局長に
武笠健次(41法)、会計は佐々木安則(56機)
が就任し、会の事業など詳細は、本部からの
会報などで順じ紹介していく。



横浜北支部設立総会

平成19年3月17日

- ① 会 長 狩野七郎
- 副会長 新井三夫・武笠健次
- 専務理事 秋田琢次・平能孝一
- ② 神奈川大学11号館13番教室
- ③ 27名 加入者58名 在住者数2、022人
- ④ 設立総会は、支部会則案ならびに役員候補者
案を審議し準備委員会の原案に基づき承認さ
れ発足する運びとなった。新支部長に渡邊武
(33経済)、副支部長に伊藤折(43法)・川畑
千穂(35経済)・堀米博(平成元貿易)の三
名が選出された。事務局長は、島村茂(47経
済)、会計は堀内寿美(42法)と山口裕子
(56経済)が就任し、会の事業など詳細は、
本部からの会報などで順じ紹介していく。



事業計画、予算案が提出されました。今総会には新規加入の参加があり、無事総会が終了。その後場所を移し懇親会を開催。皆さんと親交を深めて散会となりました。

- 1、会員名簿の整理、支部だよりの発行
- 2、講演会の計画
- 3、東京箱根間往復駅競走の応援
- 4、近隣市長の同窓生との交流をし、支部の充実を図る。在校生との懇親を行う



三洋みやも会支部総会

平成18年11月24日

- 1 専務理事 平能 孝一
- 2 第一ホテル日本橋店
- 3 8名
- 4 当日は8名の会員が出席。来賓の社団法人宮陵会平能専務理事から大学の現状や陸上競技部などの各部の活躍を伺うことが出来、大変参考になりました。三洋みやも会の母体である三洋証券は解散してしまいました。が、神大の同窓生であると同時に、三洋証券で苦楽を共にした仲間意識を大事にし、今後とも会員の交流の場として三洋みやも

会を継続していく決意を改めて全員で確認し、閉会いたしました。



クリエイトメディック 支部総会

平成18年12月9日

- 1 専務理事 秋田 琢次
- 2 神奈川大学箱根保養所
- 3 13名
- 4 平成18年12月9日、宮陵会より秋田専務理事様のご出席を頂き、第19回支部総会を箱根保養所にて開催しました。総会および懇親会では、秋田様より大学や宮陵会の近況などお話いただき、楽しく有意義な総会となりました。
- 5 年一回、支部総会および懇親会開催



会計人会支部総会

平成18年7月13日

- 1 常務理事 貝田 泰雄
- 講師 田中 弘教授
- 奥山 茂教授
- 戸田 龍介教授
- 副会長 磯邊 晃
- 2 神奈川大学 1号館
- 3 52名
- 4 第13回定時総会は、神奈川大学1号館において52名の出席を得て開催された。第1部は午後4時30分より定時総会で狩野議長のもとで第1号議案から第5号議案まで全て原案通り承認可決された。第2部は講演会を行い、「最近の会計不祥事と会計プロフェッションの対応」のテーマで田中教授が講演した。第3部は懇親会を8階に移し、夜景をながめながら楽しい宴となった。来賓として大学、宮陵会のほか、友好会計人会から8大学その他多くの関係者、会員とが交流し、盛会理の懇親会であった。
- 5 1、幹事会を6月14日と12月1日の2回開催し



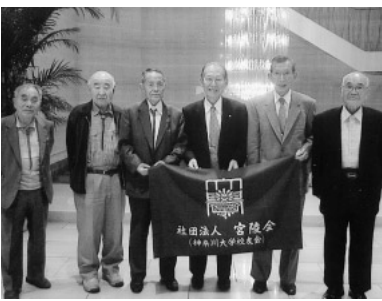
た。

- 2、賀詞交換会を18年1月24日に開催した。
- 3、第9回全国会計人会サミットに3名出席した。また6大学の友好会計人会の総会に出席した。
- 4、税理士セミナーを年2回開催し、学生に職業会計人のPRを行った。
- 5、試験合格祝賀会に出席して懇談した。
- 6、総務委員会で教育基金のあり方を検討し、大学側に基金を行った。

十五宮面会支部総会

平成18年6月3日

- 1 なし
- 2 メルバルク東京 1階食堂
- 3 6名
- 4 写真のように、6名の参加で総会を終了しましたことを連絡いたします。



みやも電華会支部総会

平成18年6月4日

- 1 なし
- 2 熱海簡易保険加入者ホーム「本館」

22名

- 1 「第38回みやも電華会」総会は梅雨入り前の好天に恵まれ、関東から長崎までの各地から、ご同伴の奥様方を含め22名が参集した。先ず、この1年間に鬼籍に入られた5名の会員の冥福を折り黙祷を捧げた後、恒例の宴会になり交々、近況や情報との交換で一時を楽しみ、更に別室にて歓談し夜遅くまで歓談、旧交を温めた。
- 1、近況情報の一覧、名簿等の配布。
- 2、来期以降の総会は東京地区の幹事が担当する事になった。
- 3、その他各地区での集会は適宜開催する。



ボクシング部 OB会支部総会

平成18年12月2日

- 1 体育振興委員長 手塚 正
- 2 神奈川大学19号館
- 3 B1階 「LUX」
- 4 31名
- 5 2005年度活動、決算報告、2006年度活動、予算案を報告し、来年となりました。

60周年記念式典についての報告（現段階での進行状況、委員の紹介等）。また、箱根駅伝の応援について手塚委員長よりお話しがありました。総会後は懇親会を行いました。



男子バスケットボール部 OB会支部総会

平成18年7月14日

- 1 専務理事 平能 孝一
- 2 神奈川大学1号館
- 3 804会議室
- 4 24名
- 5 平成18年度の定期総会を開催しました。平成17年度事業・決算報告、平成18年度事業計画・予算案について承認をしましたが、現在の会員数496名となりますが、そのうち130名余りの方が住所不明となり、連絡がとれておりません。会員は全国各地におり、なかなか一同に会することが出来ませんが、会報「ファースト・ブレイク」(バスケット用語で速攻)を年2回発行し、紙面を通じての交流をはかっています。我が支部

の活動は、「OB相互の親睦と現役への支援」を目標としています。現役も強くなり、関東2部リーグで男女ともに活躍しています。我々も元気ががんばろうと再会を約束して解散しました。

⑤ 平成18年

9月 役員会
10月 現役の関東大会応援

11月 マスターズ大会への参加

12月 役員会・現役の納会での懇親会

平成19年

2月 現役との交流会
3月 役員会・現役の追いコンでの懇親会

6月 役員会
7月 OB会総会

空手部OB会支部総会

平成18年6月17日

① 専務理事 秋田 琢次
② 神奈川大学生協 ラックス



ホール

③ OB 11名

④ 昨年同様若手OBの出席が増え、11名のOBにて総会が開催された。宮陵会より秋田専務理事がご多忙のところご出席され、大学の現状、全国の支部状況、人間科学部新設等に関して説明いただき、一同熱心に拝聴した。次に、中山会長より17年度の活動報告がなされ、メインイベントであった65周年記念事業が全国からOB諸氏が30余名参加し、旧交を温め成功裡に終了したことが説明された。また、OB会則の見直し、練習強化等今年度の計画が提案された。会計より、ここ数年に亘り、OB会予算の節減により次期繰越金が100余万円の見込みと報告され、現幹事会の予算節減意識と努力が評価された。監督より、現行部員数29名及び現役の活動報告がなされ、又、OB会ホームページの立ち上げについての説明がなされた。総会終了後は、例年の通り学生との合同懇親会が開かれ、総勢50余名の参加者で大いに盛り上がり、OB、学生との交流が計れた。

⑤ 平成18年

7月9日 OB幹事会
12月9日 OB幹事会
及び空手部納会

平成19年

2月17日 OB幹事会
4月21日 OB幹事会
6月16日 OB総会

柔道部

OB会支部総会

平成18年12月16日

① 専務理事 秋田 琢次
② 神奈川大学 ラックスホール

③ 64(委任状含)名

④ 納会の前、午後4時半より宮陵会・柔道部長参列のもとに総会を開催。秋田専務理事より大学の現状報告を頂いた後、伊藤OB会長より年間事業報告(柔道部・宮陵会との関わり)、会計報告が行われた。最後にOB会の活性化の為、現柔道部総監督の木村氏をOB会の副会長に選任し、全員の賛同を得て総会を終えました。

⑤ 平成19年度 事業計画

1、新入生歓迎会
2、夏季合宿壮行会
3、納会
4、その他

宮陵会行事への参加
OB会・親睦会の開催



アメリカンフットボール部
OB会支部総会

平成18年6月24日

① 学生生活支援事務部長 水上 晃

専務理事 秋田 琢次

② 神奈川大学 ラックスホール

③ 33名



④ OB会開催にあたり、一番の問題は昨年に引き続きOB会費不足が改善されないことである。特に今年は一部昇格にあたりリーグ戦は全て有料試合となりその費用だけでも100万を超えてしまう中、アトムズ活動運営費の有力スポンサーであるOB会費の不足は死活問題である。今一度、真剣にこの問題に取り組み、具体的に行動を起こすための前向きな意見を頂戴したい。

⑤ 5月 理事会
6月 理事会

8月・9月 合宿差入れ
9月～11月 リーグ戦応援

(9月10日の法攻戦はアトムズ史上記念となる1部初戦は応援強化の為OB集合)

1月 箱根駅伝応援
2月 理事会

レスリング部
OB会支部総会

平成18年11月3日

① 専務理事 秋田 琢次
事務局長 平能 孝一

関口副部長 吉本監督
岡野 マネージャー

② 神奈川大学 1号館8F

③ 55(現役35)名
④ 海外遠征にて金メダル獲得など一部校としての地位を確立しつつある現役の支援・応援、さらに創部60年(後6年)に向けて、OB会活動の更なる活性化を目指しております。今回は、後援会として現役父兄にも総会に参加して頂きました。

⑤ 東日本学生リーグ戦(5月)を中心に各試合の応援。
卒業生送別会の開催や、年間優秀選手の表彰など、現役との交流を持った活動支援。
OB会会員の交流の為、会報の年3回発行。
宮陵会支部として、総会、代議員会、ホームカミングデーの参加。



ラグビー部
OB会支部総会

平成18年4月30日

① 専務理事 秋田 琢次
② 附属中山中高キャンパス 38名

④ 宮陵会本部から秋田専務理事のご出席を頂き、当支部の定期総会を4月30日(日)に開催いたしました。例年はゴールデンウィークの初日に行っていましたが、今年は2日目に、出席者の人数に影響あるのではと懸念されましたが、途中からの出席者、都合による退席者を含め38名で開催した。なお、総会終了後は、例年通り現役を含んだ懇親会も実施しました。

⑤ 1、年間活動としては、会員との親睦を計るに必要な情報交換の為に必要な会員の住所の確認業務。
2、年1回の会報発行(今年度は34号)と会費寄付納入依頼。
3、春、秋シーズンに於ける試合の応援と指導(現役の)

4、年間7～8回の幹事会



にてOB回運営と、現役の強化支援についての話し合いを行う。
5、その他総会準備、2年に1回発行の名簿作成準備など。

卓球部OB会支部総会

平成18年11月11日

- ① なし
- ② 神奈川大学
19号館ラックスホール
- ③ 51名
- ④ 会員31名、元卓球部部長の荻原顧問、東郷現卓球部長、現役の4年生及び幹部18名の出席で盛会でした。総会では、OB会設立の昭和36年以來45年にわたり会長を務められた梅津氏及びほぼ同じ期間副会長を務められた大友・桐ヶ谷の両氏が辞任され新しい会長（支部長）、副会長（副支部長）が選出された。
- ⑤ 1、会員名簿の作成・配布（ただし今回の名簿から住所は削除）
2、卓球部の試合の「応援&懇親の会」の開催
3、親睦ゴルフ大会の開催
4、卓球部の支援・指導
5、定例総会の開催



**写真研究部
OB会支部総会**

平成18年5月27日

- ① 広報委員長 久米 信行
神奈川大学箱根保養所
- ② 23名（全員OB）
- ③ ④ 昨年の横浜開催の時に決定され、再会された箱根開催となりました。2年毎の役員改選にあたりましたが、小田会長の続投が全員一致で決議されました。一部の役員が新任され、また異動となりました。今年、OBの写真展を開催しようとの企画が決議され、実行委員が選任されました。また事務局機能の強化のため、専用パソコンの購入などが予算化されました。議事後は、懇親会を行い、いつもながらの旧交を温めながらも白熱する議論で熱い夜となりました。
- ⑤ 毎年、6月の第1土曜日を総会としております。いつも雨が絡むのがジメジメとあっており、今年も朝から雨でした。年間の活動報告として、決算を公開し、ガラス張りの運営を行う



平成18年5月27日 写真部OB会

ため、ホームページに活動内容を掲載しております。
全国に散らばる役員は合計15名ですが、ネットメールを使って「ネット役員会」を年間5、6回行ってまいります。ここで会長以下役員全員の考えをぶつけて、支部の方針を決定しており、スピード感を持った運営に努めてまいります。

女子会員のつどい支援部会

平成18年10月29日

- ① 専務理事 秋田 琢次
- ② ヨコハマグランド
インターコンチネンタル
ホテル「驪臨」
- ③ 34名
- ④ 例年大学（横浜キャンパス）内で講演会付き準総会を開催してきました。この間、4000通の案内状発送も年次を下げるなど工夫をしてきましたが、参加者は減る傾向で、今年は女性に人気のホテルレストランを会場に企画致しました。結果は予想以上の参加希望があり、予約した部屋に入りきれないほどで盛会でした。又、約3分の1が初めての方で、秋田専務の大学、宮陵会の近況報告のあと、食事を頂きながらの懇親会、そして最後に次期委員候補の選出を行いました。
- ⑤ 婦人部は年1回の準総会を神奈川・東京在住の女子卒業生を中心に開催しています。現在横浜市内の区支部の立ち上げが準備されており、いずれは女性だけの会は発展的解散になると思います。支部活動の中で女性が参加しやすい（したくなる）企画がないと参加は難しくなると思います。